

補足資料

令和5年度

第1回森林環境保全基金運営委員会

～ 森林環境税活用事業の概要補足資料 ～

みんなで支えて次世代へつなごう！

# 山林とくらしを守る森づくり

県民みんなが森のサポーター

高知県

しんりんかんきょうぜい

## 森林環境税

令和4年度・活用事業のご案内



健全な森の  
大切な役割

- 「緑のダム」として、水を蓄えます。
- 雨から土壌を守り、土砂崩れを防ぎます。
- 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和します。

8月11日  
国民の祝日  
山の日

**あなたの500円が、こうちの森づくりを支えています。**

森林環境税は、「広く県民みんなが負担することで森の重要性を認識し、県民みんなで森を守っていく」ことを目的として、平成15年に高知県が全国に先駆けて導入しました。森林環境税は、個人、法人ともに県民税（均等割額）に500円を一律に上乗せしてご負担いただいております。森林の環境を保全するための事業などに活用されています。



# 森林環境税はこんなことに使われています。

高知県の森林率は84%、全国一の森林県です。森林には、木材の生産だけでなく、土砂災害の防止、水源のかん養、自然環境の保全などの公益的機能があります。高知県では、健全な森林づくりを進めるため、森林環境税を活用して荒廃した人工林の間伐やシカの食害から森林を守る活動など「森林環境の保全を進める事業」に取り組んでいます。

また、県民みんなで森林や山を守る「こうち山の日」の取組や、小中学校が行う森林環境学習への支援、公共的施設への県産木材の利用促進など「県民の森林への関わりを深める事業」にも使われています。

## みなさんのおかげで 元気な森に育っています！



森林環境税についての  
お問い合わせは

高知県林業振興・環境部林業環境政策課

〒780-0850 高知市丸の内1丁目7番52号 TEL:088-821-4586 FAX:088-821-4576  
E-mail:030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
HP:<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kankyousei.html>

上の取組に賛同される方（個人・法人）からの寄附の受付を行っています。頂きました寄附は、これらの取組に活用させていただきます。詳しくは、高知県林業環境政策課のHP (<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kikin-kifu.html>) をご覧ください。

森林ボランティアについてのお問い合わせは

こうち山の日ボランティアネットワーク

〒781-8010

高知市棧橋通6丁目7番43号 高知県森と緑の会内 「森・ヒト・こうち応援ネット」 twitter  
TEL:088-855-3905 FAX:088-855-3906

こうち山の日・県民参加支援公式サイト

「森・ヒト・こうち応援ネット」HP

<https://morihito.jp/>

「森・ヒト・こうち応援ネット」 twitter  
twitter ID: morihitojp



11月11日は  
「こうち山の日」

高知県の豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって、山を守り育て、次代へと引き継ぐことを趣旨として、森林環境税が始まった平成15年に制定されました。森林ボランティア団体や市民グループなどにより、森や山、木に親しむ事業が県内各地で行われています。

みんなで支えて次世代へつなごう！

# 山林とくらしを守る森づくり

県民みんなが森のサポーター

高知県

しんりんかんきょうぜい

## 森林環境税

令和5年度・活用事業のご案内



健全な森の  
大切な役割

- 「緑のダム」として、水を蓄えます。
- 雨から土壌を守り、土砂崩れを防ぎます。
- 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を緩和します。

8月11日  
国民の祝日  
山の日

**あなたの500円が、こうちの森づくりを支えています。**

森林環境税は、「広く県民みんなが負担することで森の重要性を認識し、県民みんなで森を守っていく」ことを目的として、平成15年に高知県が全国に先駆けて導入しました。森林環境税は、個人、法人ともに県民税（均等割額）に500円を一律に上乗せしてご負担いただいております。森林の環境を保全するための事業などに活用されています。



# 森林環境税はこんなことに使われています。

小中学校などが行う森林環境学習や県民のみなさんの森や山に対する主体的な活動への支援、森林環境情報誌の発行、県立施設や公園、学校等の身近な場所の緑化などの「こうちの森で人づくり事業」に活用しています。

また、炭素を固定した木材の利用により地球温暖化防止につながる公共的施設の木造化・木質化や野生動物との共存を図るための森林内の獣害対策など「豊かな森づくり事業」にも活用しています。



シカによる食害等から森林環境や希少野生植物を守るための対策に取り組めます。

野生動物との共存

5,059万円

防ごう

学ぼう



子どもたちに森林や山への理解や関心を深めてもらえるよう、学校現場等での森林環境学習を支援します。

木材利用

4,011万円

使おう



県民の皆さんの目に触れやすい公共的施設などに県産木材を使うことで、木の良さをPRしていきます。

令和5年度  
森林環境税  
活用事業総額  
1億8,748万円  
(当初予算ベース)

森林環境教育

4,593万円

普及・啓発

3,674万円

知ろう



森林環境情報誌、SNSでの情報発信、イベント開催等により、森林や木材利用への関心を上げます。

参加しよう

1,411万円



「こうち山の日」を中心に行われる県民の皆さんの自発的な活動や、森林ボランティア団体等の活動を支援します。

県民の主体的な活動

森林環境税についての  
お問い合わせは

高知県林業振興・環境部林業環境政策課

〒780-0850 高知市丸の内1丁目7番52号 TEL:088-821-4586 FAX:088-821-4576  
E-mail:030101@ken.pref.kochi.lg.jp  
HP:<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kankyousei.html>



上の取組に賛同される方（個人・法人）からの寄附も受け付けています。いただきました寄附は、これらの取組に活用させていただきます。詳しくは、高知県林業環境政策課のHP (<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kikin-kifu.html>) をご覧ください。



森林ボランティアについてのお問い合わせは

こうち山の日ボランティアネットワーク

〒781-8010

高知市棧橋通6丁目7番43号 高知県森と緑の会内  
TEL:088-855-3905 FAX:088-855-3906

こうち山の日・県民参加支援公式サイト

「森・ヒト・こうち応援ネット」HP

<https://morihito.jp/>

「森・ヒト・こうち応援ネット」twitter  
twitter ID: morihitojp



11月11日は  
「こうち山の日」

高知県の豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林を守る活動に参加し、また自ら行動することによって、山を守り育て、次代へと引き継ぐことを趣旨として、森林環境税が始まった平成15年に制定されました。森林ボランティア団体や市民グループなどにより、森や山、木に親しむ事業が県内各地で行われています。

R 4 - 1

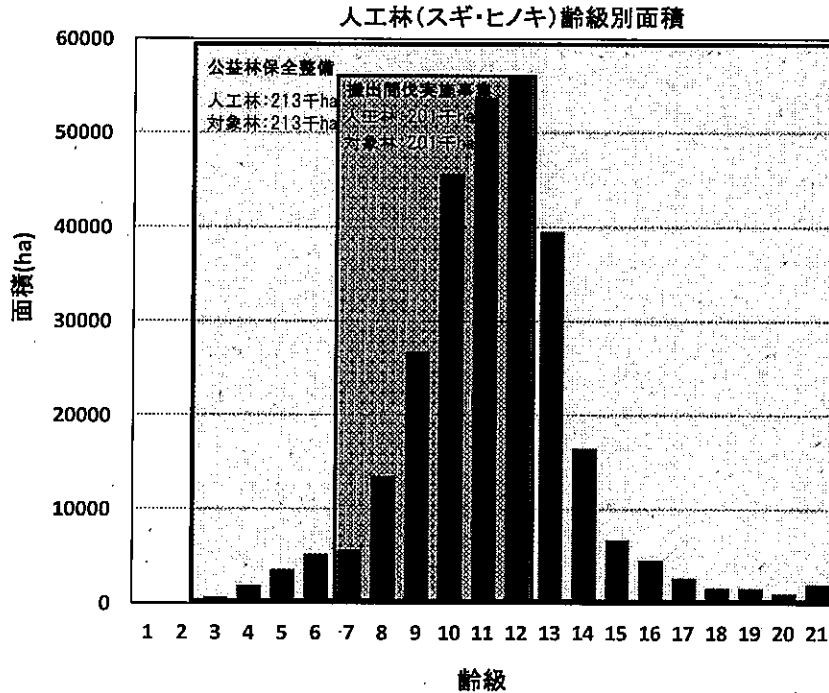
公益林保全整備事業

(木材増産推進課)

# 緊急間伐総合支援事業

## 【目的】

森林の公益的機能を高めるとともに、森林資源の質的充実を計画的に推進するため、国庫補助事業を補完し、手入れの遅れている人工林を対象に間伐等を支援する。



## 【内容】

- 公益林保全整備事業 (財源：森林環境税)  
保安林又は水源かん養機能等公益性が高い人工林の保育間伐 (3年齢級以上) を推進することで、荒廃森林の防止し、森林の持つ公益的機能の効果的な発揮を図る。
- 森林整備支援事業 (財源：一般財源)  
搬出間伐 (7～スギ14年齢級、ヒノキ18年齢級) と作業道整備を一体的計画に基づき実施する。

事業区分	事業内容
1. 公益林保全整備事業	20,000千円 (前年度23,000千円) ・保安林又は森林の公益機能が高い3年齢級以上の森林 ・80,000円/ha定額
2. 森林整備支援事業	45,000千円 (前年度45,000千円)
①搬出間伐実施事業	20,500千円 ・造林事業の対象にならない(集約化が困難)森林 7～スギ14年齢級、ヒノキ18年齢級まで ・183,000円/ha定額(間伐率30%) ・122,000円/ha定額(間伐率20%) 小規模林業推進協議会会員に限る
②作業道整備事業	24,500千円 ・開設 500円/m～1,500円/m(幅員に応じて) ・路面整備、復旧等

【補助先】 市町村

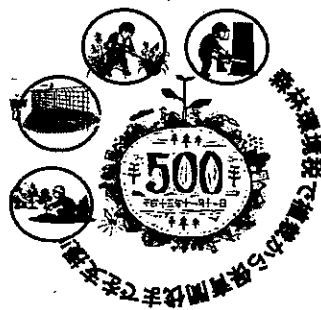
【事業主体】 森林組合、森林所有者 (自伐林家等を含む)、林業事業者等

R 4 - 2

みどりの環境整備支援事業

(木材増産推進課)





## 森林環境税を活用した保育施業等への支援

【みどりの環境整備支援事業費補助金】

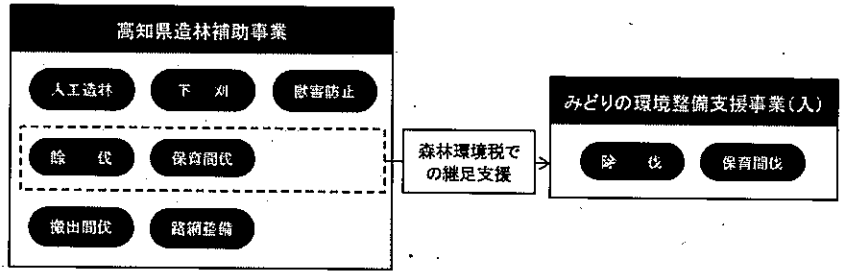
### 1. 事業目的

- ◆ CO<sub>2</sub>吸収効果の高い人工林や、自助努力による森林整備が期待できない森林の整備を促進することで、荒廃森林の発生を防止する。  
また、健全な森林の維持増進を図ることで、森林の多面的機能の高度発揮を促進する。

### 2. 支援概要

- ◆ 支援対象 森林所有者、施業受託者、森林組合、市町村、森林整備法人
- ◆ 対象施業 造林事業で採択された11～45年生の人工林での除伐、保育間伐
- ◆ 補助率等
  - 定額 42,000円(除伐 11～25年生) 不用木の除去、不良木の淘汰
  - 定額 46,000円(保育間伐A 11～35年生) 不良木の淘汰
  - 定額 42,000円(保育間伐B 11～45年生) 不良木の淘汰  
(伐採木の平均胸高直径18センチメートル未満)
  - 定額 32,000円(保育間伐C 11～45年生) 不良木の淘汰(環境林整備事業)
  - 定額 30,000円(保育間伐D 11～45年生) 不良木の淘汰
  - 定額 44,000円(保育間伐D 11～45年生・林内整理あり) 不良木の淘汰
  - 定額 28,000円(保育間伐E 40～45年生) 不良木の淘汰

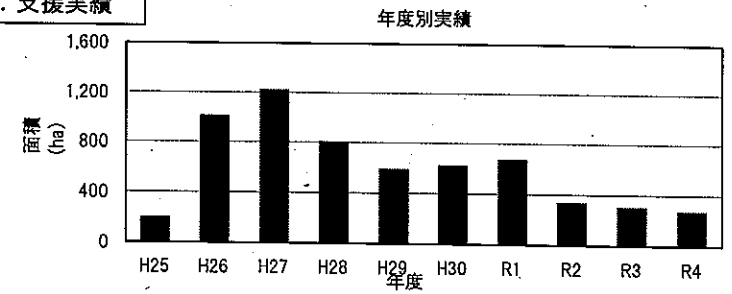
#### —支援のイメージ—



#### —補助率のイメージ—

標準事業費：造林標準単価・施業量		受託手数料等経費
造林補助金 (68%)	森林環境税支援分	自己負担分

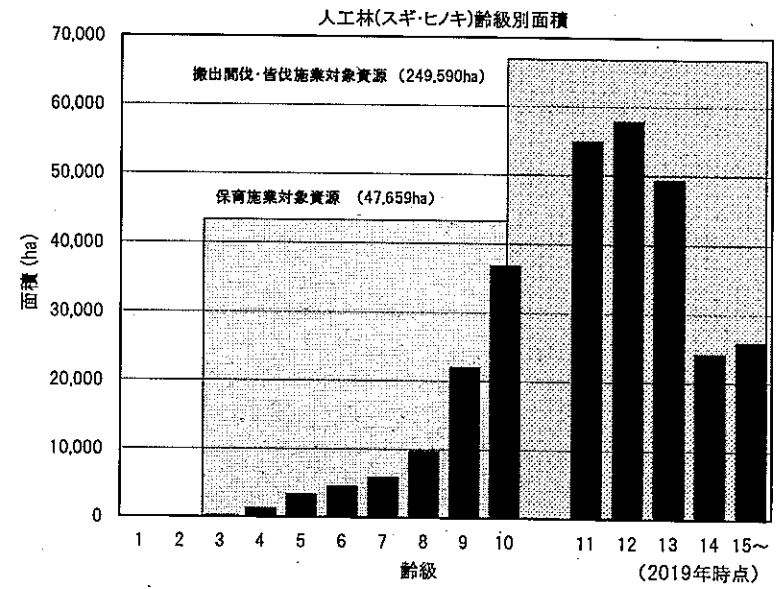
### 3. 支援実績



年度	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3	R4	面積 (ha)
除伐	82	133	152	40	43	75	59	20	9	20	20
保育間伐A	117	218	469	270	235	229	282	208	46	110	110
保育間伐B	—	61	60	77	30	42	114	81	68	33	33
保育間伐C	—	583	545	421	284	279	220	22	140	67	67
保育間伐D	—	—	—	—	—	—	—	10	11	0	0
保育間伐D(整理あり)	—	—	—	—	—	—	—	0	25	0	0
保育間伐E	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	199	1,014	1,228	808	592	625	675	341	307	277	

### 4. 資源構成

- ◆ 人工林構成面積のうち、保育施業対象と考えられる3～9齢級の人工林分が約20%を占めています。森林の多面的機能を保持し、健全な森づくりを推進するためには、適正な保育施業が必要です。そこで、「森林環境税」を活用して健全な森林資源の保続を図ります。



R 4 - 3

造林事業（環境林整備事業）

（木材増産推進課）

# 造林事業（環境林整備事業）

## <事業内容>

森林所有者の自助努力によっては適正な整備が期待できない条件不利地等において、森林の多面的機能を発揮させる森林整備を行う

### ○国庫補助事業の制度改正

#### <制度改正の背景>

- ・戦後造成された人工林の5割が主伐期を迎えている
- ・森林資源を計画的に造成し森林の公益的機能を維持・増進させるためには、再造林を確実に行っていくことが重要

#### 森林環境保全整備事業

森林環境保全直接支援事業

変更前

環境林整備事業（H30年度廃止）※R元年度への繰越予算あり  
事業内容：保育間伐C

#### 森林環境保全整備事業

森林環境保全直接支援事業

変更後

特定森林再生事業（R元年度創設）  
事業内容：人工造林、下刈りなど

### ○環境林整備事業の内容と実施状況

- ・対象林齢：11～60年生
- ・事業内容：保育間伐C（不用木の除去、不良木の淘汰）
- ・事業規模：0.1ha以上/1施行地
- ・事業主体：森林組合等
- ・補助率等：県が定める標準単価の72%（国54%、県18%）
  - ・保安林又は市町村森林整備計画に規定する公益的機能が高い森林
  - ・市町村、森林所有者、事業主体で協定を締結

■これまでの実績

（単位：ha）

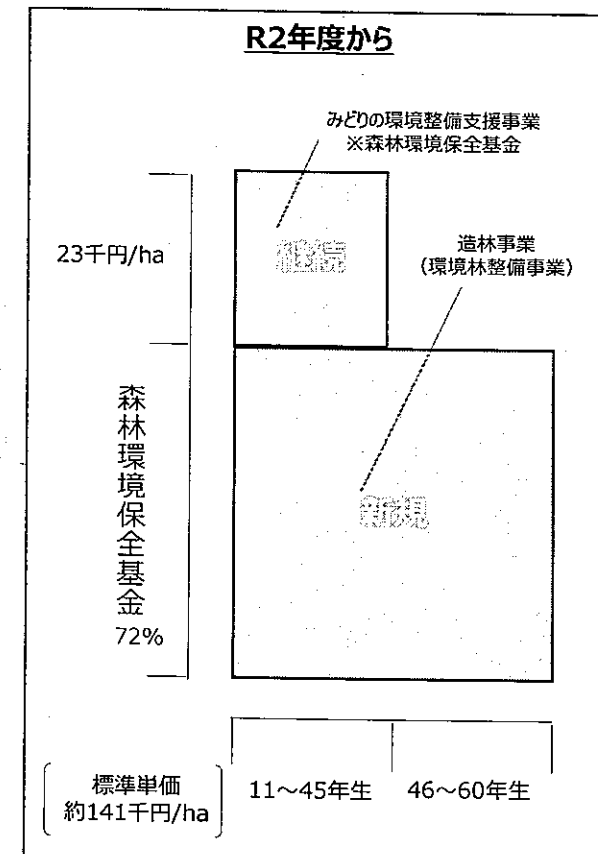
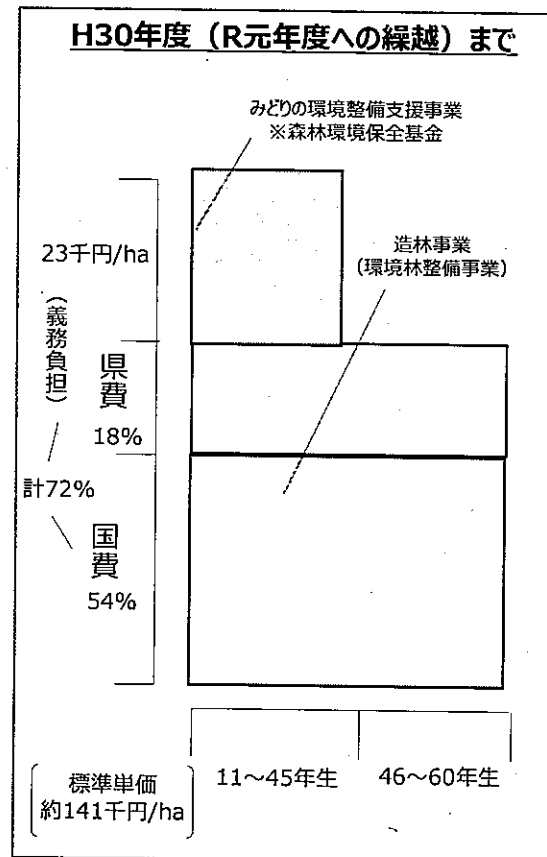
年度	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
面積	592	418	512	317	102	234	116

### ○環境林整備事業の必要性

多くの人工林を抱える本県では、森林の多面的機能を発揮させることが必要な条件不利地等において保育間伐が必要な森林は依然として存在している

森林環境保全基金を活用し、これまでの内容・仕組みを継続 ⇒ 森林の多面的機能を発揮

【補助率等のイメージ】



R 4 - 4 ( R 5 - 7 )

森林・山村多面的機能發揮対策  
支援事業

(林業環境政策課)

# 令和5年度

## 「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」のご紹介

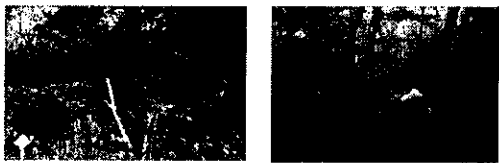
里山林は、居住地近くに広がり、薪炭用材の伐採、落葉の採取等を通じて地域住民に継続的に利用されることにより、維持・管理されてきた森林です。

しかし、このような里山林は、昭和30年代の石油・ガスなどの化石燃料の普及、化学肥料の普及等により地域住民との関係が希薄になり、侵入竹などによる荒廃が進んでいます。

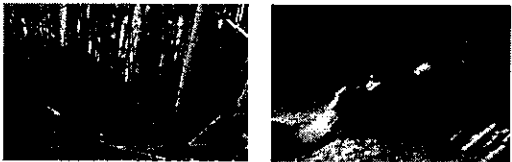
そこで、林野庁では、地域住民、森林所有者等が協力して行う、里山林の保安全管理や資源を利用するための活動に対して支援を行います。

### 現場のニーズ

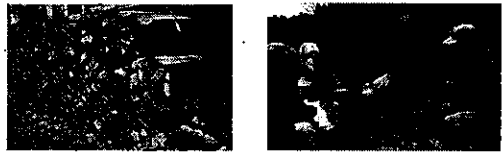
荒れている里山林の手入れや機能の維持・保全活動を行いたい



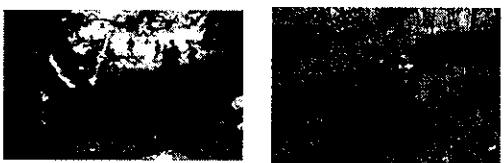
高密に侵入したモウソウチクや笹などを除去したい



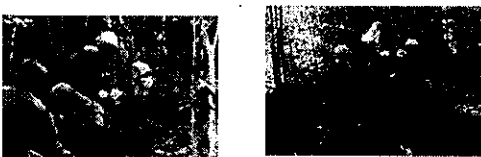
薪やシイタケ原木など地域の資源を活用して山村を活性化したい



森林整備のための歩道を作りたい  
鳥獣害防止柵を設置したい



地域外の人と森林整備を行っていききたい



### 活動メニュー

#### 【地域環境保全タイプ】 (里山林保全活動)

- ・里山林の機能を維持するための活動
- ・風倒木や枯損木の除去活動等

#### 【地域環境保全タイプ】 (侵入竹除去、竹林整備活動)

- ・侵入竹の伐採・除去活動
- ・荒廃竹林の整備活動等

#### 【森林資源利用タイプ】

- ・集落周辺の広葉樹等の伐採、搬出活動等

#### 【森林機能強化タイプ】

- ・歩道・作業道の作設・改修
- ・鳥獣害防止柵の設置・補修

#### 【関係人口創出・維持タイプ】

- ・地域外関係者との調整
- ・受け入れ環境の整備等

メインメニュー

サイドメニュー

サイドメニューはメインメニューと組み合わせて実施

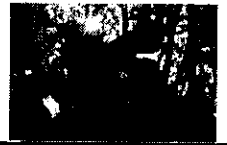
# ○森林・山村多面的機能発揮対策交付金の対象活動と支援内容

## 1 活動への支援

里山林の保安全管理や資源を利用するための以下のような活動に対して、定額で支援を行います。（国の交付単価は年度当たりのものです。）

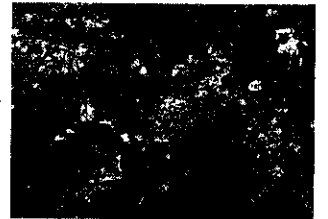
〔 交付金の使途：人件費、燃油代、傷害保険、賃借料、ヘルメット・手袋・なた・のこぎり等の消耗品、書籍、委託料、印刷費等 〕

- ・活動推進費（3か年の活動計画の具体化に対する支援）  
（国の交付単価：初年度のみ。（最大）112,500円）  
現地の林況調査、活動計画の実施のための話し合い、研修等



### メインメニュー

- ・地域環境保全タイプのうち「里山林保全活動」  
（国の交付単価（最大）：初年度120,000円、2年目115,000円、3年目110,000円/ha）  
雑草木の刈払い・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え、植栽、播種、施肥、不要萌芽の除去、緩衝帯・防火帯作設のための樹木の伐採・搬出、風倒木・枯損木の除去・集積・処理、土留め・鳥獣害防止柵等の設置、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等
- ・地域環境保全タイプのうち「侵入竹除去、竹林整備活動」  
（国の交付単価（最大）：初年度285,000円、2年目265,000円、3年目245,000円/ha）  
竹・雑草木の伐採・搬出・処理・利用、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等
- ・森林資源利用タイプ  
（国の交付単価（最大）：初年度120,000円、2年目115,000円、3年目110,000円/ha）  
雑草木の刈払い・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、木質バイオマス・炭焼き・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工、特用林産物の植付・播種・施肥・採集、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング等



### サイドメニュー

- ・森林機能強化タイプ  
（国の交付単価：最大800円/m）  
歩道や作業道等の作設・改修、鳥獣害防止柵の設置・補修、及びこれらの実施前後に必要な森林調査・見回り
- ・関係人口創出・維持タイプ  
（国の交付単価：最大50,000円/年）  
地域外関係者との活動内容の調整、地域外関係者受け入れのための環境整備、これらの活動に必要な森林調査・見回り等



〈※見回りのみの活動では支援対象となりません。他の活動と一緒に取り組んで下さい。〉

## 2 資機材への支援

1のような活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の1/2以内（一部の資機材については1/3以内）を支援します。

### ・ 1/2以内を支援する資機材

刈払機、チェーンソー、丸鋸、ウィンチ、軽架線、チップパー、わな、苗木、電気柵・土留め柵等構築物の資材、あずまや（休憩や作業を行うための簡易建屋）、資機材保管庫、移動式の簡易なトイレ、携帯型GPS機器、設置費等（汎用性のある物品等は対象外）

### ・ 1/3以内を支援する資機材

林内作業車、薪割り機、薪ストーブ、炭焼き小屋

## ○支援を受けるには？

○ 森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した取組を行うために、以下に示す活動組織を設立する必要があります。

### 活動組織

#### 構成員：

活動組織の構成員は、地域住民、森林所有者等地域の実情に応じた方（3名以上）で構成してください。

地域の自治会、NPO法人等が単独で実施、又は1構成員となることも可能です。

なお、活動組織としての規約の作成や区分経理が必要となります。

#### 対象森林：

本交付金の対象となる森林は、活動を行う時点において、森林経営計画が策定されていない0.1ha以上の森林です。

#### 活動区域：

○ 地域住民、森林所有者等による里山林の保全、利用を支援することが本事業の目的であり、原則として活動組織の事務所は、対象森林と同一都道府県内にあることが必要です。

#### 活動計画書：

活動組織名、所在地、取組の背景及び概要、3年間の活動計画（原則として過去に策定した活動計画書に位置付けられていない森林とする。）、年度別の取組内容、計画図、委託内容等を記載した計画書を作成する必要があります。（計画書の作成は交付金の支援対象とはなりません。）

申請

都道府県単位に設立されている地域協議会に対して、申込みを行います。

（地域協議会は、審査にあたって、活動を計画している市町村から、活動対象森林や活動内容の有効性等について、意見を聴取します。）

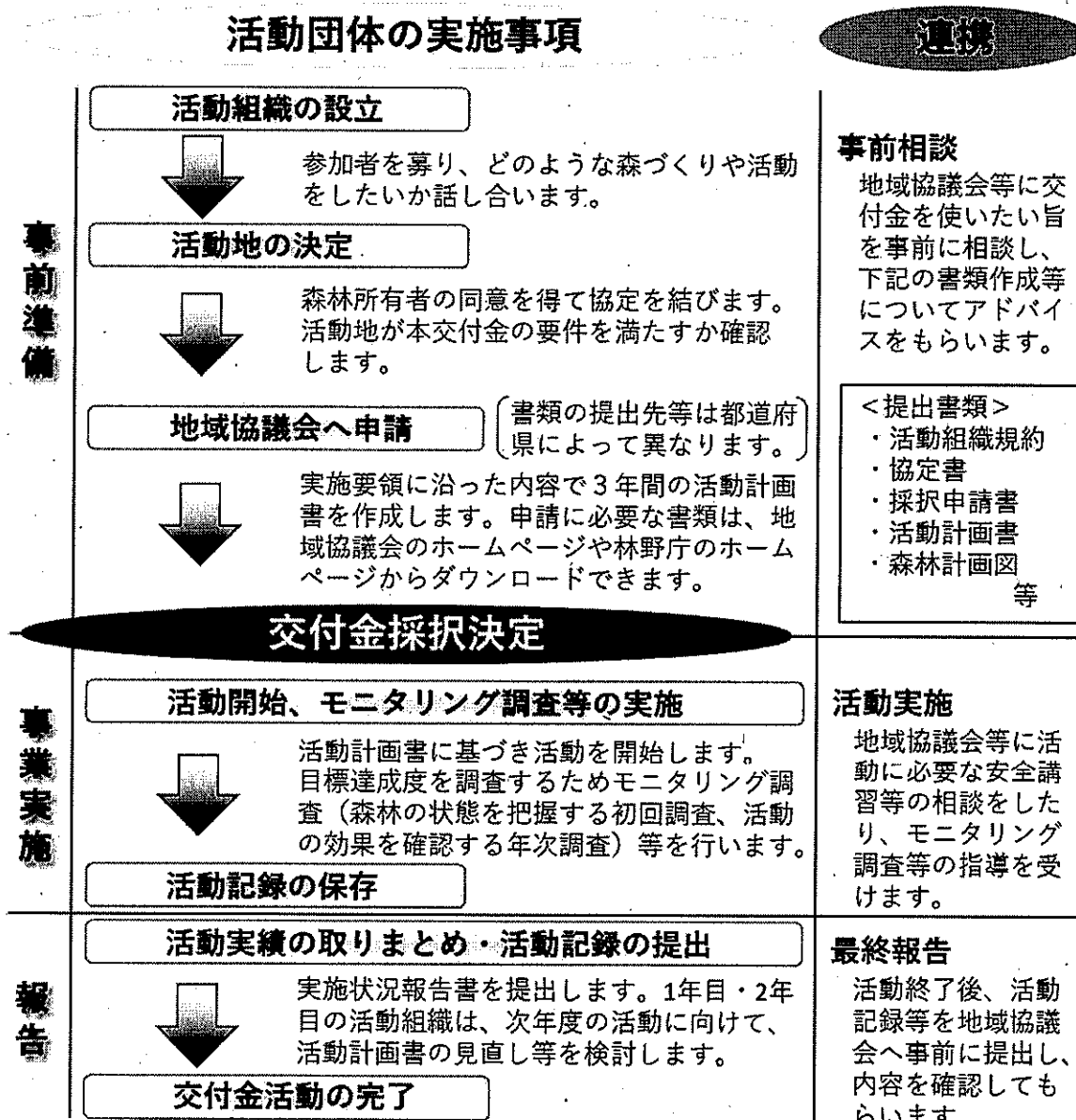
地域協議会の連絡先は、林野庁ホームページでもご確認いただけます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/tamenteki.html>

## ○その他支援を受ける場合の留意点等

- ・1活動組織当たり、年度ごとに500万円（国からの交付額）を上限として支援（同じ場所では最大3年間支援）します。
- ・人工林でも活用できます。
- ・地域の活動組織が持続的に里山林の整備や利用活動を実施することを基本として、森林整備の作業で危険を伴う作業や専門的な技術が必要な作業等については、地域の森林組合などに作業の一部を委託することができます。
- ・採択に当たっては、会費の徴収等により財政基盤が確保されており、安全研修を計画しているなどの一定の安全技術の向上が期待できる組織を対象とします。
- ・また、活動計画書に活動の目標と活動結果のモニタリング調査方法が記載されているとともに、モニタリング調査を実施する必要があります。

## ○交付金の申請から報告までの主な流れ



詳細については、林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室

（☎03-3502-0048）に御相談ください。

林野庁ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson/tamenteki.html>



(別添)

令和4年度 森林・山村多面的機能発揮対策事業

活動組織に対する補助金の交付実績

番号	交付先	市町村名 (実施地)	事業内容						交付金額(円) (A)+(B)+(C)	負担区分			備考
			活動推進費	地域環境保全タイプ		森林資源 利用タイプ (ha)	森林機能 強化タイプ (m)	関係人口 創出・維持 タイプ		国 (円)(A)	県 (円) (B)	市町村(円) (C)	
				里山林保 全(ha)	侵入竹林 去・竹林整 備(ha)								
1	森の元気お助け隊	香南市		1.1	0.8				450,700	338,500	58,100	58,100	2
2	木の駅ひだか活動組織	香南市			0.2				65,200	49,000	8,100	8,100	3
		いの町		(1.5)					(192,000)	(165,000)	(27,000)		
				1.0					128,000	110,000	18,000		
		計		(1.5)					(257,200)	(214,000)	(35,100)		
				1.0	0.2				193,200	159,000	26,100	8,100	
3	赤松本舗	香美市				2.2			(378,800)	(296,200)			2
									378,800	296,200	41,800	41,800	
4	土佐林	香美市	○	0.8			1,300		1,559,250	1,248,500	164,750	146,000	1
5	白木谷ゆめファクトリー	南国市	○		13.5				5,280,000	3,960,000	680,000	680,000	1
6	十市の里山保全会	南国市	○		0.5				340,000	255,000	42,500	42,500	1
7	里山・保 結いの会	大豊町		12.7	0.7		(173)		4,849,950	4,284,200	285,300	300,450	2
8	特定非営利活動法人元気おとよ	大豊町		0.3					48,200	34,800	5,700	6,000	2
9	仁尾ヶ内里山会	大豊町		4.1					658,000	492,000	82,000	82,000	1
10	山守の会	香美市					(250)		(250,000)	(200,000)	(25,000)	(25,000)	2
		大豊町			0.3	8.2			1,471,550	1,124,300	169,000	178,250	
		計			0.3	8.2		(250)	(1,721,550)	(1,324,300)	(194,000)	(203,250)	
									1,471,550	1,124,300	169,000	178,250	
11	牛山の公園会	本山市					(230)		(258,300)	(212,300)	(23,000)	(23,000)	2
									0	0	0	0	
12	もとやま里山保全協議会	本山市	○	1.0		1.3			636,000	506,500	64,750	64,750	1
13	いしはらの里協議会	土佐町		1.3	1.2	8.2			1,805,600	1,339,000	219,600	247,000	3
14	ほのぼのの里協議会	土佐町			0.5				166,500	122,500	20,250	23,750	3
15	緑が和ファーム	高知市		0.4	0.2				131,800	99,000	16,400	18,400	2
16	神田うぐいすの森保全の会	高知市			0.3				97,800	73,500	12,150	12,150	3
17	高知市北山森林整備活動組織	高知市	○				270		446,400	354,900	45,750	45,750	1
18	採人の会in森ノ森	高知市		1.4					204,400	154,000	25,200	25,200	3
19	土佐山七園社	高知市		1.0	0.2				294,600	239,000	27,800	27,800	2
20	エコ南越保存会	いの町	○		0.7				392,200	340,200	52,000	0	1
21	さかわキコリンジャー2017	佐川町		8.1					890,600	671,000	109,800	109,800	3
22	さかわキコリンジャー2020	佐川町			0.1				32,800	24,500	4,050	4,050	3
23	エコ奥川新祭り隊	仁淀川町			0.1	1.4			207,750	178,900	29,250	0	3
24	坂中新改の会	中土佐町		21.9		8.8			4,638,500	3,490,500	574,000	574,000	1
25	上ノ加江 池と瀧山の自然を守る会	中土佐町		0.5					76,500	57,500	9,500	9,500	2
26	山口建築	中土佐町	○	(0.0)	(1.8)	(0.1)			(1,382,500)	(1,080,000)	(151,250)	(151,250)	1
				0.1	0.8	0.0	450		982,900	775,400	103,750	103,750	
27	龍王の森を復活させる会	中土佐町		5.4		0.5			(977,700)	(741,700)			1
									985,900	729,900	118,000	118,000	
28	Mideri	中土佐町		0.2					(74,600)	(67,000)			2
									74,600	67,000	3,800	3,800	
29	特定非営利活動法人新高森林倶楽部	四万十町		(16.8)					(2,488,400)	(1,848,000)	(302,400)	(338,000)	3
				13.7					2,027,600	1,807,000	246,600	274,000	
30	金上野活動組織	四万十町	○	0.8	1.0				626,000	469,500	78,250	78,250	1
31	シメントのヤマモリ隊	四万十町		1.0		1.0	700		1,008,000	790,000	108,000	110,000	2
32	シンク・プラネット四万十	四万十町		0.9		0.8			222,000	165,000	27,000	30,000	3
33	海森自然体験公園	黒潮町		8.4	0.6	8.5	300		3,232,000	2,439,000	396,500	396,500	1
34	佐賀町林業研究会	黒潮町		0.2					29,200	22,000	3,600	3,600	3
35	エコパワー	四万十市	○				400		550,000	432,500	58,750	58,750	1
36	しまんと黒草むら	四万十市			0.2				65,200	49,000	8,100	8,100	3
37	西土佐やまもりず	四万十市		2.4	0.1				383,000	288,500	47,250	47,250	3
		四万十町		2.8					384,800	288,000	48,800	52,000	
		計		5.0	0.1				767,800	574,500	94,050	99,250	
38	土佐清水市森林組合	土佐清水市		25.5					3,723,000	2,805,000	459,000	459,000	3
39	みはら森クラブ	三原村	○	(5.7)					(1,159,300)	(893,800)	(132,750)	(132,750)	1
				5.6					1,143,300	881,800	130,750	130,750	
活動初年度計			10	(8)	9	6	(5)						
活動2年目計					8	5	3	(4)					
活動3年目計					9	8	3	0					
合計			10	(25)	26	19	(11)	(9)					
				(123.8)	120.2	23.0	38.7	(4.073)	(42,164,900)	(32,699,900)	(4,746,300)	(4,718,700)	
					22.0		3.552		40,665,400	31,530,400	4,579,800	4,555,100	

(注)「活動推進費」及び「関係人口創出・維持タイプ」欄は、該当がある場合に○印を記載し、計欄には団体数を記載すること。

R 4 - 5 - 1 ( R 5 - 1 7 - 1 )

指定管理鳥獸捕獲等事業

(鳥獸対策課)

# 令和5年度 指定管理鳥獣捕獲等事業について

高知県鳥獣対策課

## 目的・背景(環境省)

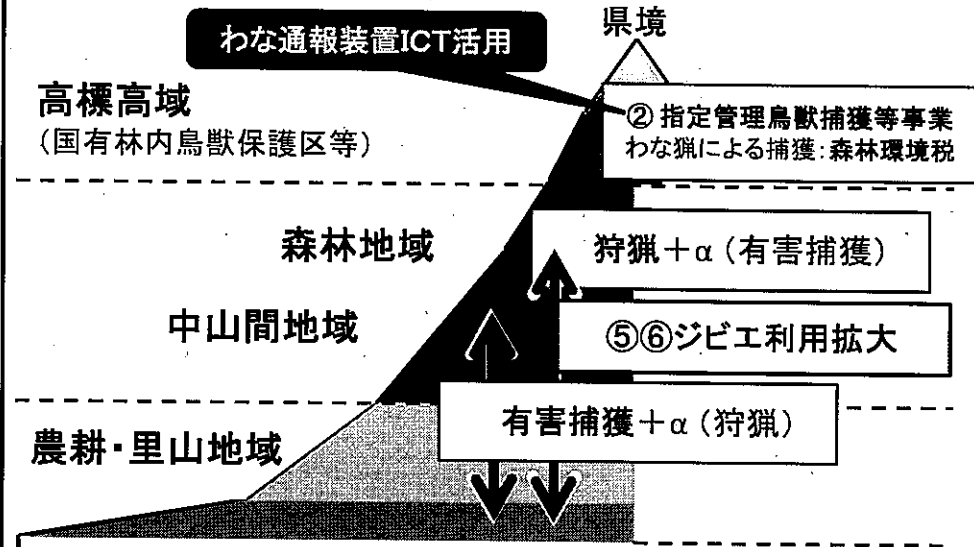
- ニホンジカ及びイノシシによる農林水産業被害及び自然生態系への影響が深刻化。
- 環境省と農林水産省は、2013年にニホンジカ・イノシシの個体数を10年後の2023年度までに半減させる「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を公表。捕獲数の大幅な拡大を図るため、鳥獣法の改正により創設した指定管理鳥獣捕獲等事業を交付金により支援。
- 今後、ニホンジカは半減目標の達成に向けて、なお一層の捕獲を行う必要があるほか、高密度地域が広範囲に及んでおり、更なる捕獲の強化が必要であることから、従来の都道府県毎の捕獲等の取り組みに加えて、複数の都道府県が参加する広域協議会を設置し、都道府県域を越えた広域的な調査や捕獲等を進め、シカの半減目標達成のための取組を促進する。
- また、近年特に狩猟者による捕獲数が伸び悩んでいることから、狩猟者による捕獲を緊急的に支援して、狩猟による集中的な捕獲を行うとともに、速やかに捕獲個体を加工処理場に運搬して、捕獲個体の利活用を促進する。

## 事業概要(高知県)

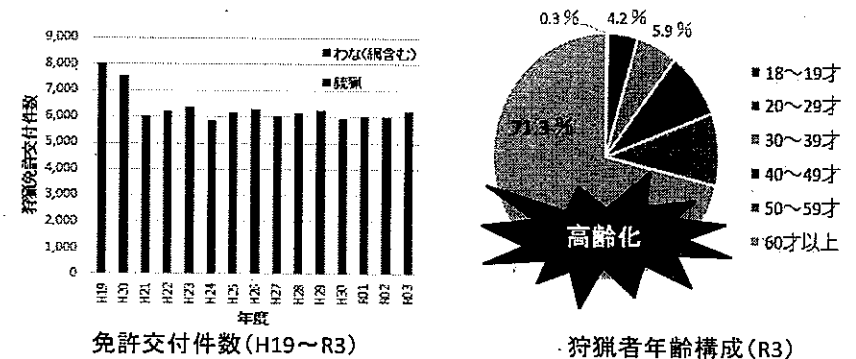
本県で実施する事業	事業内容
① 実施計画策定等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業計画策定調査委託料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ②事業実施計画策定のための調査</li> <li>・ ②事業を評価するための事前・事後調査等</li> <li>・ 事業検討会の開催 (委託先: 専門機関等)</li> </ul>
② 指定管理鳥獣捕獲等事業 (指定管理鳥獣捕獲等事業委託料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国有林内鳥獣保護区でのわな猟によるシカ捕獲 (委託先: 認定鳥獣捕獲等事業者等)</li> </ul>
③ 効果的捕獲促進事業	未実施
④ 認定鳥獣捕獲等事業者等の育成	
⑤ ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成 (ジビエ利用拡大狩猟者講習会委託料)	
⑥ ジビエ利用拡大のための狩猟捕獲支援 (ジビエ利用拡大狩猟捕獲支援委託料)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全・安心なジビエの流通を図るため、狩猟者を対象に捕獲方法や衛生管理等の講習会を実施 (委託先: 専門機関等)</li> <li>・ 狩猟で捕獲したシカ・イノシシを指定した処理施設に持ち込んだ際の報償金の支払いや、残差の産業廃棄物としての処理費用を支援 (委託先: 処理加工施設)</li> </ul>

(赤字)は県事業名

## シカ捕獲事業の住み分け



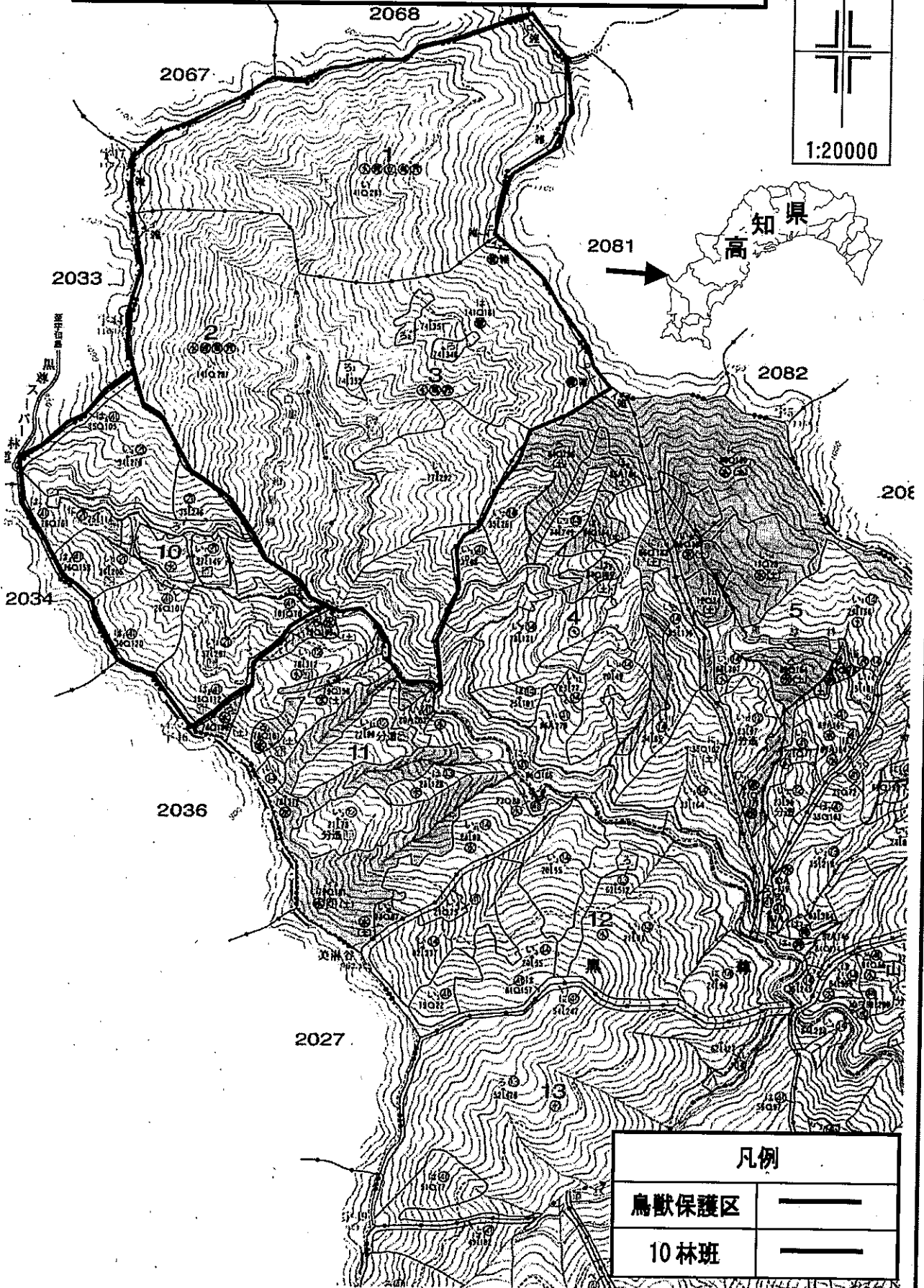
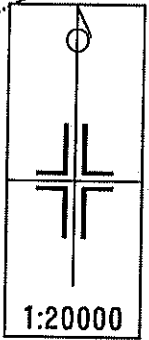
## 高知県の現状



- ・ R3狩猟者(狩猟免許交付件数) → 6,195件(うち、わな猟 3,863件)
- ・ R3シカ捕獲数(狩猟+有害等) → 21,708頭(年間捕獲目標2.5万頭の87%)
- ・ R3狩猟によるシカ捕獲 7,507頭 → わな猟が88%(6,582頭)
- ・ シカのジビエへの利用率 → わずか2%程度

# 幡多区域

(県指定鳥獣保護区: 民有林等を除いた国有林298ha)  
 高知県四万十市西土佐奥屋内 黒尊山国有林1林班外



## 凡例

鳥獣保護区

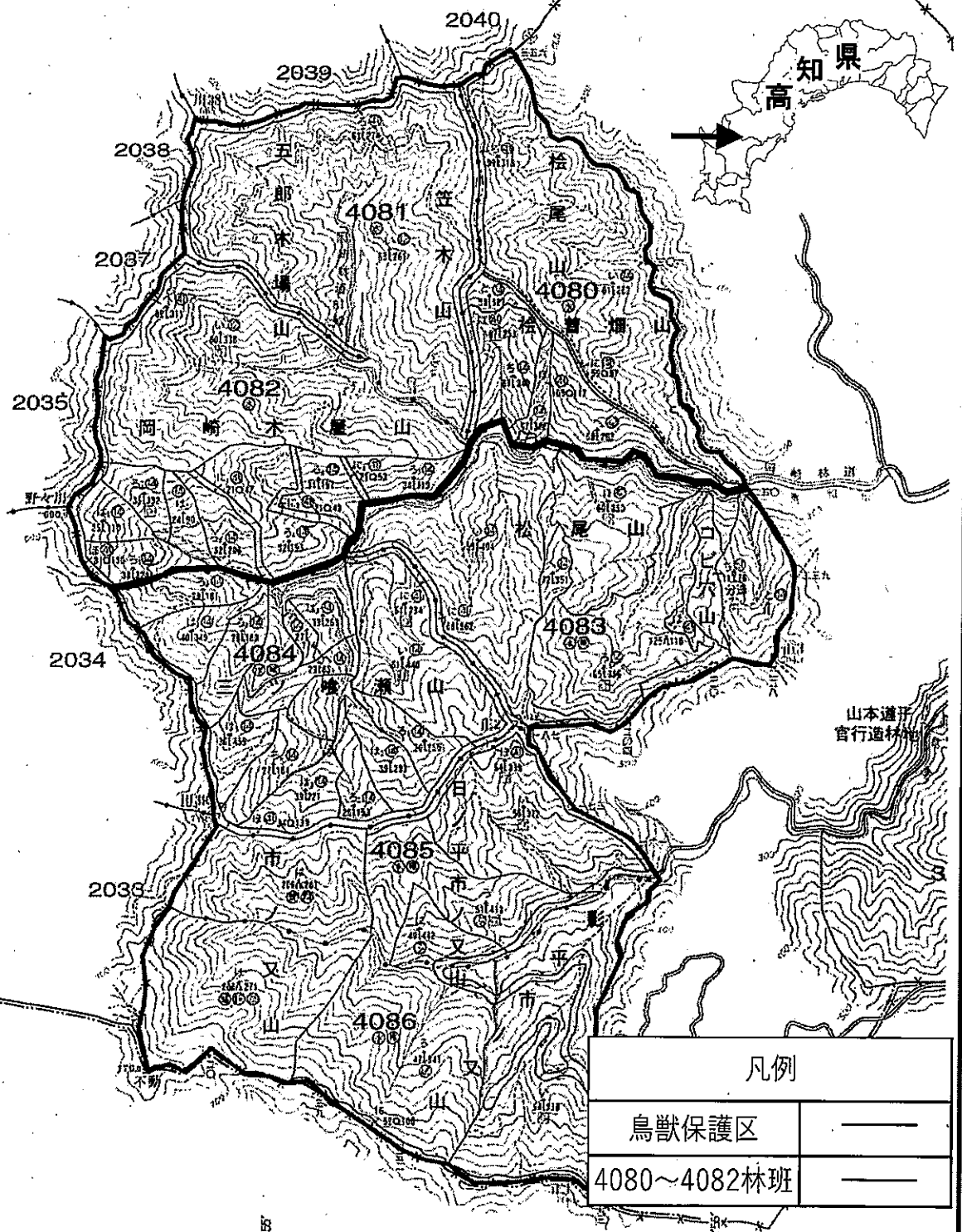
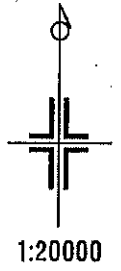


10林班



高岡区域		
(県指定鳥獣保護区: 民有林等を除いた国有林360ha)		
高知県高岡郡四万十町大正 コビ穴山国有林4083林班外		
①	鳥獣保護区	市山区域
②	鳥獣保護区	林班・林分・林種
③	特別利用・特別利用	保護林林班【1-2】
④	鳥獣保護区	
分道	分道	
分道	分道	
新設	新設	
撤去	撤去	

① 山腹深部は此タイプ内の(土)又は(林)と別記あり。② 山腹深部内エリアである  
 又は山腹深部内エリアの(土)又は(林)と別記あり



凡例	
鳥獣保護区	——
4080~4082林班	——

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲実績表

表 高岡区域でのワナの設置及びシカ捕獲実績

年月	くくりワナ (30基)				捕獲計(頭)			備考
	つづら山 南側-B・C		つづら山 北側-A					
	12基		18基		オス	メス	計	
	オス	メス	オス	メス				
令和4年10月								10/22 開始
11月	2		2	1	4	1	5	
12月		1	1	3	1	4	5	
令和5年1月			2	2	2	2	4	
2月								2/27 終了
合計	2	1	5	6	7	7	14	

表 幡多区域でのワナの設置及びシカ捕獲実績

年月	くくりワナ (30基)								捕獲計(頭)			備考	
	1林班		2林班		3林班		10林班						
	3基		12基		5基		10基		オス	メス	計		
	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス					
令和4年10月				1		1		4		6	6	10/16 開始	
11月						1				1	1		
12月	1	1		1				1		2	2	4	
令和5年1月				1		1					2	2	
1月			5基		5基		20基		1	1	2	1/10 わな位 置変更	
							1	1					
2月								1	2	3	2/22 終了		
合計	1	1		3		3		7	4	14	18		

R 4 - 5 - 2 ( R 5 - 1 7 - 2 )

第二種特定鳥獸捕獲推進事業費

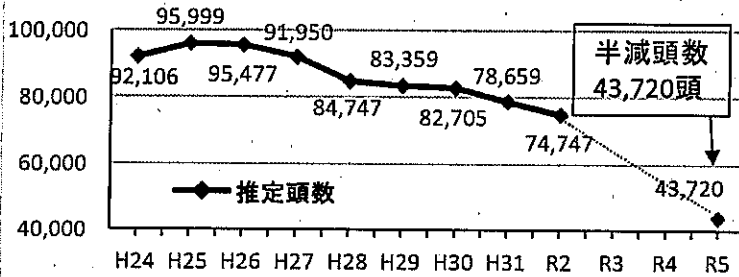
(鳥獸対策課)

# 第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金について

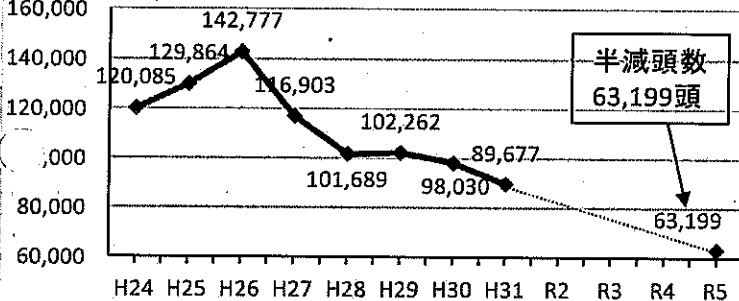
## 国の目標

○シカとイノシシの平成23年度の推定頭数を令和5年度までに半減

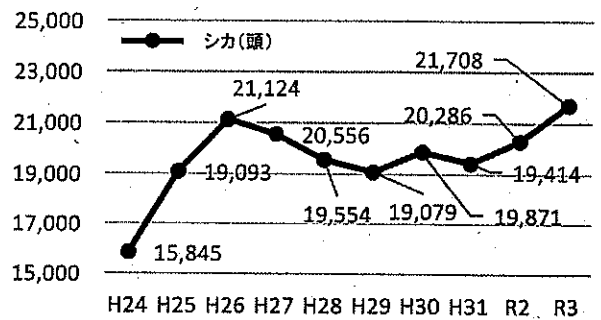
### 高知県のシカの推定生息頭数の推移



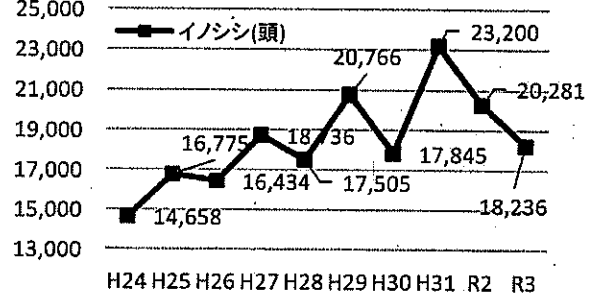
### 四国4県のイノシシの推定頭数の推移



### シカの捕獲数の推移



### イノシシの捕獲数の推移



## シカの目標

○平成23年度の推定頭数87,441頭を令和5年度までに43,720頭以下にする。

## 目標に対しての現状

○目標を達成するためには、年間25,000頭を捕獲する必要がある(令和3年度シカ個体数調査委託業務より)。近年は、年間捕獲頭数が概ね20,000頭のため、5,000頭の不足

## イノシシの目標

○平成23年度の推定頭数126,398頭を令和5年度までに63,199頭以下にする。年間捕獲頭数2万頭を維持する。

シカもイノシシも捕獲圧を高めないと目標を達成できない

## 県の取り組み

○H25～H26 集落ぐるみ捕獲推進事業(くくりわな配布事業)

H27 シカ捕獲推進事業(くくりわな配布事業)

わなを狩猟者へ直接配布(貸与)して捕獲促進

合計12,900基配布

配布したくくりわなのH25～H29のシカ捕獲頭数4,626頭

○H29～H31 シカ捕獲推進事業費補助金(くくりわな配布事業)

H27までに配布したわなが消耗し、新たに配布(貸与)する必要が生じたため、H30からは市町村がくくりわなを購入し、狩猟者へ配布したわなに対して県から補助する事業により、地域に応じたくくりわなを配布。

合計9,089基配布

配布したくくりわなのH29～R3のシカ捕獲頭数5,666頭

○R4～R6 第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金

H31までに配布したわなが消耗し、新たに配布(貸与)する必要が生じたため、年間捕獲目標頭数の不足分を補うために3カ年に分けて概ね7,500基を配布(貸与)する。

シカの捕獲頭数を増加させるために、里山地域だけではなく、森林地域でも捕獲を実施してもらうように促進する。



## 今後について

R6年度に実施するシカの個体数推定及び四国4県のイノシシの個体数推定の結果から、捕獲圧を高めることを目的とした当事業を継続するか判断する必要がある。



令和4年度第二種特定鳥獣捕獲推進事業費補助金管理表

2023/3/31

事業実施市町村数: 19

予算額: 20,751,000 円①

交付決定及び確定額: 20,750,295 円②

予算残: 705 円①-②

市町村名	交付決定額等						交付決定		実績報告
	配布対象者数 (人)	事業量 (基)	事業費 (円)	事業費内訳(円)			月日	4高知鳥獣 番号	月日
				県費	市町村費	その他			
1 高知市	86	342	1,485,990	1,485,990	0	0	9月26日	第126号	2月15日
2 室戸市	65	268	1,845,184	1,845,184	0	0	8月18日	第111号	1月26日
3 安芸市	18	146	1,127,273	1,127,273	0	0	11月29日	第153号	1月26日
4 南国市	24	103	669,500	669,500	0	0	1月12日	第123号	3月7日
5 土佐市	5	25	162,500	162,500	0	0	10月25日	第144号	12月16日
6 須崎市			0						
7 宿毛市			0						
8 土佐清水市			0						
9 四万十市	65	300	1,906,391	1,906,391	0	0	1月17日	第165号	3月31日
10 香南市	9	21	165,900	165,900	0	0	9月29日	第129号	12月26日
11 香美市			0						
12 東洋町			0						
13 奈半利町	28	207	1,232,785	1,232,785	0	0	7月15日	第94号	3月30日
14 田野町	6	36	201,861	201,861	0	0	9月20日	第125号	2月28日
15 安田町	16	124	939,268	939,268	0	0	12月5日	第155号	2月3日
16 北川村	30	154	1,096,100	1,096,100	0	0	6月17日	第86号	12月12日
17 馬路村	14	99	546,295	546,295	0	0	9月20日	第124号	2月24日
18 芸西村	11	86	479,600	479,600	0	0	10月7日	第95号	3月6日
19 本山町	(8.17) 424,000取り下げ								
20 大豊町			0						
21 土佐町	68	291	2,085,500	2,085,500	0	0	6月27日	第90号	12月6日
22 大川村	12	66	451,902	451,902	0	0	12月14日	第160号	3月31日
23 いの町			0						
24 仁淀川町			0						
25 中土佐町			0						
26 佐川町			0						
27 越知町			0						
28 梶原町			0						
29 日高村			0						
30 津野町	64	359	2,333,500	2,333,500	0	0	11月18日	第148号	2月16日
31 四万十町	64	490	2,830,006	2,830,006	0	0	6月15日	第84号	3月20日
32 大月町			0						
33 三原村	11	77	449,190	449,190	0	0	11月10日	第146号	2月16日
34 黒潮町	32	110	741,550	741,550	0	0	7月1日	第91号	1月18日
計	628	3,304	20,750,295	20,750,295	0	0			

6,280 ←1基あたり平均単価

R 4 - 5 - 3 ( R 5 - 1 7 - 3 )

森林環境保全対策シカ捕獲事業

(鳥獣対策課)

# 令和5年度 森林保全シカ捕獲事業委託料について

5市町で  
約50%を捕獲

	市町村名	年度別捕獲実績(頭)					H29~R3 捕獲頭数 平均 ①
		H29	H30	R1	R2	R3	
1	安芸市	399	442	588	537	506	494
2	四万十市	941	1,263	816	958	1,045	1,005
3	香美市	669	799	894	749	801	782
4	大豊町	464	425	448	534	537	482
5	四万十町	633	1,108	615	683	671	742
	合計	3,106	4,037	3,361	3,461	3,560	3,505
	全県に対する割合	50.3	50.4	50.2	47.8	47.4	49.2
	全県	6,172	8,006	6,690	7,238	7,507	7,123

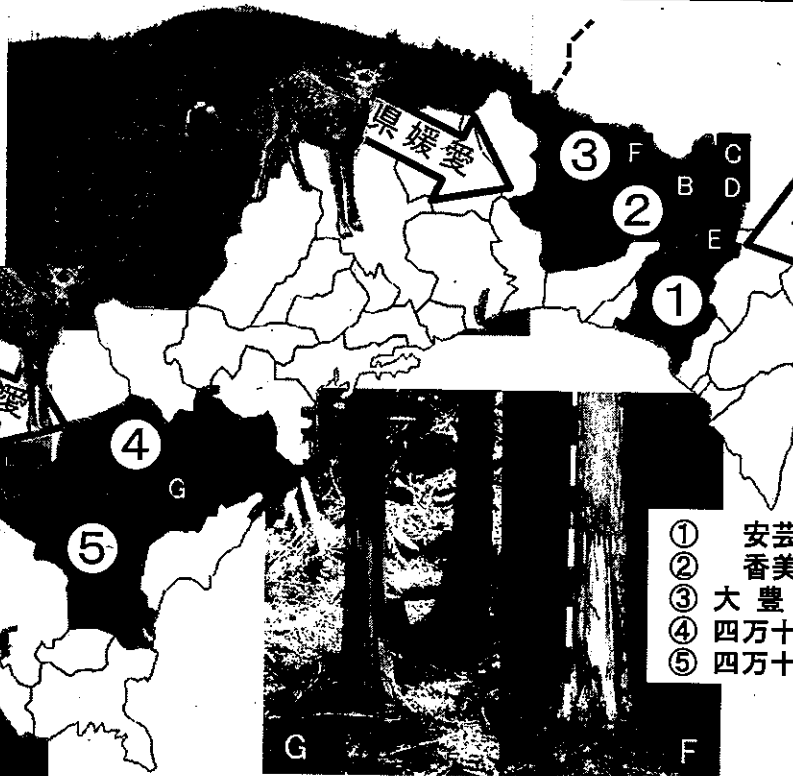
5市町と委託契約を締結し、シカの狩猟期間(11月15日~3月31日:137日間)のうち、3月末までの捕獲報償金支払実績に基づき、高知県森林環境税を活用し委託費を支払う。(2月末までの106日間に捕獲された個体:狩猟期間のおよそ70%「 $3,505頭 \times 70\% = 2,500頭$ 」を想定)

4月1日以降の報償金支払完了分や、捕獲実績が委託契約分を超えた場合は、既存事業「シカ個体数調整事業費交付金」により処理する。

捕獲報償金に関する用件は既存事業と同じ。



シカ害による森林の持つ公益的機能(土砂流出防備・水源かん養など)の低下



- ① 安芸市
- ② 香美市
- ③ 大豊町
- ④ 四万十町
- ⑤ 四万十市

令和4年度森林環境保全対策シカ捕獲事業 実績表

市町	安芸市	四万十市	香美市	大豊町	四万十町	合計
捕獲頭数(頭)	310	553	500	232	379	1,974
実績額(円)	2,604,000	4,645,200	4,200,000	1,948,800	3,183,600	16,581,600

R 4 - 6 ( R 5 - 1 8 )

希少野生植物食害対策事業

(自然共生課)

# 令和5年度希少野生植物食害防止対策事業

～絶滅危惧種をシカ等の食害から守るため～（平成20年から継続）

- ①全県的に希少野生植物の被害実態調査を実施し、次年度以降の防護柵候補地を計画。
- ②ニホンジカ等の食害被害による緊急性の高い植物に防護柵を設置。
- ③回復状況を確認するモニタリング調査を実施。また、食害が拡大しつつある石鎚山系の重要な植生への被害を未然に防ぐためのモニタリングを行う。

## ①調査

### ①希少種分布状況の把握

- 食害拡大地域把握  
（現地聞き取り調査、シカ捕獲頭数など）
- 希少な野生植物の分布状況  
（現地聞き取り調査、文献調査・標本データ、モニタリング結果）

### ②現地調査

希少野生植物の生育状況、食害被害状況確認

### ③防護柵設置候補地の選定

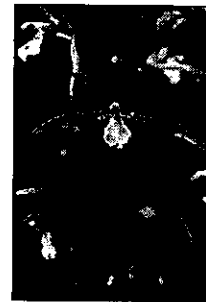
対策が必要な種、優先順位、保護範囲決定

## ②防護柵設置

設置計画に基づき、保護が必要とされる植物生育エリアに防護柵を設置

### R5計画

- ・いの町本川寺川  
柵延長：50m  
対象種：エビネ属sp.（サルメ  
ンエビネ／キソエビネ）
- ・大豊町笹ヶ峰  
柵延長：70m  
対象種：トケンラン



## ③モニタリング

①昨年までに設置した防護柵の効果の把握

- 現地モニタリング（15地点）
- 植物個体群や防護柵の破損状況把握及び簡易な補修  
（全52地点）

②石鎚山系における保全すべき植生のモニタリング

- 自動撮影カメラ調査  
（18地点）
- 植生モニタリング  
（21地点）



R 4 - 7 ( R 5 - 3 )

環境学習推進事業

(生涯学習課)

# 自然体験型学習事業

R5当初 5,600千円 (入) 5,600千円  
(R4: 5,100千円 (入) 5,100千円)

## 生涯学習課

### 事業概要

森林率日本一を誇る本県において、森林をはじめとした豊かな自然環境を利用して体験を中心とした森林環境教育を推進することにより、モデルとなる体験プログラムを構築する。小中学校の児童・生徒を対象とした森林環境保全学習や体験学習を含んだ宿泊体験活動に対して定額の補助を行う。

### 現状・課題

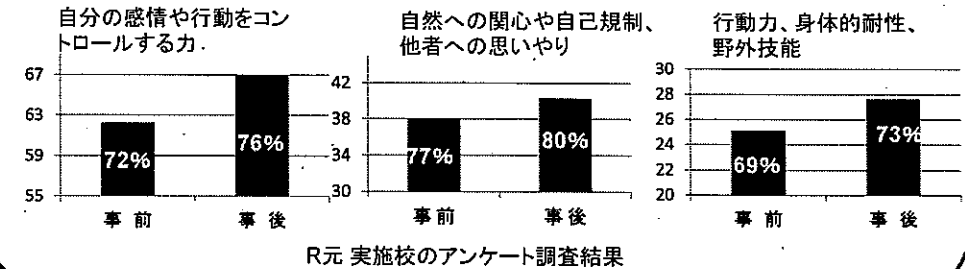
- ◆子ども達の自然体験活動や地域と関わる機会の減少 → 児童・生徒が豊かな森林をはじめとする高知の自然や地域の魅力に触れたことがなく、郷土の魅力を実感することなく成長することを懸念。
- ◆集団活動の不足・小規模学校の増加 → 児童・生徒が他者と協働して活動する機会が減少することを懸念。
- ◆厳しい環境にある児童生徒の割合が25.9% → 児童・生徒が家庭や学校以外の人間関係や自然と関わる機会が少ないまま成長することを懸念。

### 事業目標

【自然体験型学習事業】  
R4目標実施校及び団体: 25箇所 (R元実施校: 16校)  
参加児童生徒の「生きる力」に関する項目の数値 → 事前より事後の数値の増加した児童生徒の割合 100% (R元: 89%)

### 期待される効果

- ◆児童・生徒が高知県の森林をはじめとする豊かな自然の魅力に気づき、中山間地域の抱える課題に対して自発的に思考し行動できる力が育成される。
- ◆児童・生徒が集団で宿泊体験を行うことで、他者との協働の大切さに気づき、仲間と共に課題に取り組む力が育成される。
- ◆厳しい環境にある児童・生徒にとって、多様な自然体験活動や集団での宿泊体験等を通じて、他者との協働の大切さや成功体験を実感できる貴重な機会となり、自己肯定感や有用感の向上が期待できる。



### 実施内容

大きな集団での活動が不足している子どもたち

過小規模校  
小学校65校  
(極小規模30校)  
中学校3校  
(極小規模2校)

小規模校  
小学122校  
中学校64校  
実施: 小学校2校  
中学校0校

県内小学校139校、  
中学校66校(高知市除く)

極小規模校:  
(小学校)2個学年を合わせて16人以下の複式学級で構成される3学級以下の学校  
(中学校)2個学年を合わせて8人以下の学級と他の学年を合わせて2学級以下の学校  
過小規模校: 小学校1~5学級、中学校1~2学級  
小規模校: 小学校6~11学級、中学校3~11学級

※実施校はR4年度実績

### 自然体験型学習事業

#### 《学校教育》15校

- ◇青少年教育施設や廃校を活用した2泊3日以上**の宿泊体験を支援**
- ◇森林環境保全や防災等、高知の豊かな森林をはじめとした自然環境を活用した多様なプログラムの実施  
⇒仲間との協働による社会体験や、野外活動による自然体験、生活体験の増加



補助概要: 定額補助  
・合同実施校数  
・参加児童生徒数  
⇒ 数に応じて、定額金額を設定

#### 《民間団体》10団体

- ◇青少年教育施設やキャンプ場等を活用した**1泊2日以上**の宿泊体験を支援
- ◇森林環境保全や防災等、高知の豊かな森林をはじめとした自然環境を活用した多様なプログラムの実施  
⇒学校・学年・地域を越えた参加者の協働による自然体験、生活体験の増加

学校教育以外で様々な自然体験活動を経験できる機会の増加が見込まれる。

学校・学年を問わず広く参加者を募り、自然体験学習や宿泊体験を実施できる団体等

NPO法人

民間団体

福祉法人

青少年教育関係団体

R4実施: 3団体

- ◇間伐・枝打ち体験、森林と防災についての学習など、森林に関する活動をプログラムに取り入れることが補助条件
- ◇活動については、林業事務所・森林組合・森林管理局・農業高校・林業大学校等との連携・協力を得て実施



# 森林活用指導者育成事業

R5当分：679千円（入）679千円

(R4：494千円（入）494千円)

## 生涯学習課

環境学習推進事業費

### 事業概要

学校林をはじめとした森林等、豊かな自然環境を活用し、体験を中心とした森林環境教育を推進することのできる人材育成研修を行う。

### 現状・課題

- ◆令和2年度に高知県社会教育委員会より、生活体験・自然体験型学習事業の充実と人材の育成が提言された。提言の中では、宿泊を伴う体験活動への支援を民間団体等にも拡張することや体験活動を支える人材養成のシステムの構築が求められている。
- ◆学校林を保有する県内小中学校70校(19市町村)のうち、学校林を活用している学校数は17校(9市町村)にとどまっている。
- ◆学校林の利活用が進まない大きな理由として、人材難が挙げられている。【教員が必ずしも森林の知識があるわけではない。間伐などの取組が知識・資金面で困難になった。協力してくれる地域の方がいない。】
- ◆森林環境教育を推進する指導者のスキルアップの場や学習指導要領で求められている資質・能力について研修する機会が少ない。
- ◆新たに自然体験活動指導者を目指す人に対する受け皿が少ない。

### 期待される効果

- ◆本事業により育成した指導者が、県内それぞれの地域において地域人材を活用した森林活用活動が可能になり、地域連携による森林環境保全学習や体験活動が継続的に行われる。
- ◆学習指導要領(H29. 3月小・中学校、H30. 3月高等学校改訂)における環境に関わる内容の充実に寄与することができる。
- 【森林は、その育成や保護に従事している人々の様々な工夫と努力により国土の保全など重要な役割を果たしていることを理解すること。(小学・社会)】
- 【身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。(小学・生活科)】
- 【自然体験やボランティア活動などの体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れること等は引き続き重視すること(中学・総合的な学習の時間)。】
- ◆地域学校協働活動の一環として、地域の人材が研修を受けることで、学校支援や地域活動の機会が創出され、学校を核とした地域づくりが推進される。

### 事業目標

- ・学校林等を活用した除間伐作業、動植物の観察、植林、木登りなどの野遊びが指導できる人材を60名以上育成する。(令和3～7年の5年間)
- ・育成した人材が、市町村や学校とつながり、学校における森林環境保全学習及び地域学校協働活動を推進することができる。

### R4実績

受講者	修了者
20名	8名

### 実施内容

学校教育活動や社会教育活動における、森林保全に関する知識・技能の習得や体験活動を指導することのできるスキルを持った地域人材を育成する研修を実施。

対象：青少年教育施設職員  
 地域学校協働活動関係者  
 地域おこし協力隊・集落支援員、  
 大学生、教員、一般等

### 【研修で育成する力】

- ・学校林等を活用した森林で行う体験活動や防災学習を指導できる力
- ・活動する場所(森林)の環境整備ができる技能及び活動の安全管理能力
- ・教育現場で児童生徒に求められている能力(主体的・対話的で深い学び等)を踏まえ、地域から学校を支援する力

研修内容  
 ・年間4回程度  
 ・森林研修センター、情報交流館等、既存の機関の研修も活用

すべての日程に参加された方を「高知県森林活用指導者として認定及び登録(R3～)

人材バンクに登録いただくとともに、指導者の派遣要請があった場合、園・学校・団体へ派遣(R4以降)

地域学校協働活動として、地域の人材を活用した、森林環境保全学習や体験活動の推進が行われる。

《座学》(教育的な考え方、視点) 児童生徒等の特性を受け止めた指導や現在の教育の方向性を理解する。体験活動の効果や学校生活に反映される事象を理解する。  
 《技能》(チェーンソー、刈り払い機活用・危機管理・具体的な活用) 学校林等、活動場所の整備や伐採した木材を活用する際に、安全面を確保することや子供との適切な関わり方、ニーズに応じた体験活動プログラムの指導ができるようになる。  
 《現地視察・実習》乳児・幼少期の子供たちへ自然体験の機会を提供しようと活動している園(森のようちえん等)や学校林等を活用している学校や団体に依頼し、実際行われている活動を視察及び実習を行う。

R 5 - 4

青少年教育施設振興事業

(生涯学習課)

# 青少年教育施設振興事業

期待される効果

(新規)

R5 当初：249 千円 (入)249 千円

青少年センター

## 事業概要

小学生高学年児童を対象にした主催事業の一つとして開催する。高知大学農林海洋科学部の協力をうけ、森林についての学習を、同大学の演習林での間伐作業や樹木観察を体験した上で、林業や自然環境に関わる課題について学び、その課題解決について互いに考えあうことで、より深く森林の大切さを理解し、自然環境を守っていこうとする態度を育てる。

## 現状・課題

昭和 50 年代から歴年登山やキャンプなど自然体験活動を開催してきた。平成 25 年から「森林探検隊」として高知大学演習林での間伐や炭焼きの体験を開始し、本年度は「林業探検隊」として日帰り開催した。

- ・日帰り日程で時間が限られ、短時間で体験活動となっている。
- ・林業や環境保全について学ぶ時間がなく、内容が深められない。
- ・意味のある体験にするために、時間の拡大とプログラムの充実が必要。

## 実施内容

- ◆ 小学校 4～6 年生を対象に、1泊2日の事業として 20 名を募集する。
- ◆ 高知大学演習林の嶺北フィールドで以下の体験活動を実施する。
  - 林業や環境保全についての現状と課題について学習する。
    - ◇ 森林の働きについて、森林を守ることの大切さ（水資源の保持、防災として）を知る。
    - ◇ 森林が荒れていく現状について（担い手不足による放置、シカの食害など）知る。
  - フィールド内での林業体験・自然観察
    - ◇ 樹木の観察をしたり、林業についての話を聞いたりして、実地で学ぶ。
    - ◇ 除伐作業を体験し、間伐材などを活用した木工工作に挑戦する。
    - ◇ 1日目夕食・2日目朝食は、食材を調達し自炊し、施設内に宿泊し、山での生活を体験する。
  - 林業や環境保全についての解決策を主体的に考える。
    - ◇ 林業従事者による体験談や林業への思いを聞く。
    - ◇ 林業や環境保全に関する課題について子供たち自身で向き合い、解決策を考え合う場を設け、森林との向き合い方をより深くとらえさせる。

- ◆ 参加児童が山道を歩きながら植林された木々の説明を聞いたり、山の斜面で間伐体験をしたりして、林業体験をすることによって、自然と人との営みに対する感受性、木や森に対する関心を高められる。
- ◆ 参加児童が山にある施設での自炊と宿泊体験により、山の自然環境について実感することができる。
- ◆ 主催者が林業や環境保全に関する課題について子供たち自身で向き合い、解決策を考え合う場を設け、参加児童が森林の大切さを理解し、自然環境を守っていこうとする態度を育てることができる。

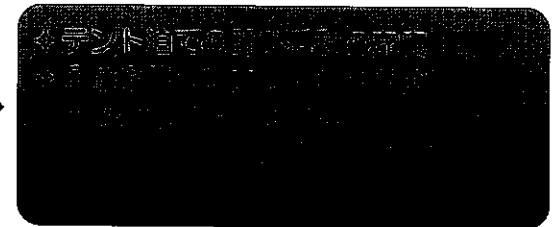
## 事業目標

参加児童が演習林で講話を聞いたり体験活動を経験したりすることで、自然に触れながら自然を身近なものと感じ、自然体験活動への興味・関心を高め、そのよさや楽しさを感じる。  
また、参加児童が普段は体験できない活動をすることで好奇心や探究心を高め、新しいことをやってみたいと思う感情を主催者が育てる。

### 協力依頼予定団体

- ・高知大学
- ・農林海洋科学部
- ・森林総合センター
- ・林業大学校
- ・香美森林組合

協力



R 4 - 8 (R 5 - 5)

高校生森林環境理解事業

R 4 - 9

高校生後継者育成事業

(高等学校課)

令和4年度事業実績報告書

高知農業高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
<p>演習林等活用事業 GNSS端末の活用事例について</p>	<p>(目標・目的) 演習林実習にてGNSS端末を利用しデータ取得をう。位置情報があるため、データ集積と整備により、授業にて活用していく。</p>	<p>(昨年度の活用実績) 1 GNSS端末使用方法について ① 令和4年4月 ② 活用内容 事前に作成したルートのデータに基づき、GNSS端末を利用してルートをとどり、GNSS端末の活用方法を学ぶ。 ③ 時間数 2時間(端末の説明と利用) ④ 人数 2年生17名 2 コンパス測量実習 ① 令和4年4月 ② 活用内容 測量対象面積の境界をGNSS端末を持って踏査し、その踏査軌跡や測点位置のポイントデータを取得する。取得したデータは、GIS (Geographic Information System)で処理して地図を作成し、これを参考にてコンパス測量図の製図を行った。 ③ 時間数 18時間(データの取得と利用時間も含む) ④ 人数 2年生17名 3 植物学習(樹木採集) ① 令和4年9月 ② 活用内容 植物採集する際、演習林境界のポリゴンデータを入力して置き、それを参考にしながら踏査する。植物採集時にはポイントデータを取得し、また踏査した軌跡とともに地図上に反映できるようにする。 ③ 時間数 10時間(データの取得と利用時間も含む) ④ 人数 1年生16名 4 毎木調査(森林資源調査) ① 令和4年10月 ② 活用内容 令和4年4月に実施したコンパス測量成果を座標変換し、GISにて地図上に反映させた。これを利用して学校にて、測定区域を把握する事前学習を行った。実習中には、GNSS端末に調査区域を表示させ位置を確認しながら調査を行った。 ③ 時間数 10時間 ④ 人数 2年生17名 5 路線測量(林道設計) ① 令和4年10月 ② 活用内容 路線測量では、GIS上で等高線に沿って事前に作成した計画路線をGNSS端末に格納し、現地では計画路線を参考にして路線測定を行った。特に、現地測量終了後には、路線上に踏査して軌跡を取得し、事後指導にて路線の確認を行った。 ③ 時間数 10時間 ④ 人数 3年生19名</p>	<p>全学年を対象にGNSSを使用した実習を行うことができた。データの解析等、専門的知識を要する部分が多く、教員の知識技能向上も必要となってくる。次年度以降も、GNSSを主に演習林実習で活用していく。</p>	<p>活動場所: 本校演習林</p>

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

# 令和4年度事業実績報告書

高知農業高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
<p>可搬式林業機械研修 (伐木等の業務に係る特別教育・刈払機取扱作業安全衛生教育)</p> <p>車両系建設機械運転技能研修 (整地・運搬・積み込み用及び掘削用)</p>	<p>可搬式林業機械研修 森林管理において可搬式林業機械を安全かつ適切に扱う能力は、地域環境の創造を担う高校生にとって必要不可欠な技術である。具体的には、林業に従事するために必要なチェーンソーや刈払機の構造や安全な操作、点検についての知識と技能を習得する。特にチェーンソーについては、本校の演習林実習で最も扱う機械であるため、安全で適切な操作を身に付ける。</p> <p>車両系建設機械運転技能講習 森林作業において、重機は重量物を扱う林業において必要不可欠であり、将来的に高性能林業機械の操作にも関係してくる。具体的には、現場で幅広く使用される車両系建設機械の種類や構造、操作について理解を深め、始業前の点検から作業後の保管までが安全かつ確実に実行できる技能を習得する。 資格の取得や継続した学習により、現場での実践に生かせる知識、技術を身に付ける。</p>	<p>可搬式林業機械研修 森林総合科 2年 17名参加 1年 13名参加 1日目～2日目 (学科) 【刈払機取扱作業安全衛生教育】 ◇刈払機に関する知識 ◇刈払機を使用する作業に関する知識 ◇刈払機の点検及び整備に関する知識 ◇騒動傷害及びその予防に関する知識 ◇刈払機の作業等 ◇法令関係 【伐木等業務特別教育】 (学科) ◇伐木作業に関する知識 ◇チェーンソーの点検及び整備 3日目 (実技) ◇伐木の方法 ◇チェーンソーの操作 4日目 (実技) ◇チェーンソーの操作 (学科) ◇チェーンソーに関する知識 ◇法令関係 ◇騒動傷害及びその予防に関する知識</p> <p>車両系建設機械運転技能研修 森林総合科 3年 5名参加(8/15～19) 1日目～2日目 (学科) ◇走行・作業に関する装置の構造、取り扱い及び作業に関する知識の習得 ◇運転に必要な一般的事項に関する知識の習得 ◇関係法令の理解 ◇学科試験 (実技) ◇走行の操作技能習得 3～5日目 (実技) ◇走行の操作技能習得 ◇作業のための装置の操作技能習得 ◇実技試験</p>	<p>2年生は全員が受講し、可搬式林業機械の知識と技術を習得できた。1年生は、発熱等の体調不良で参加できない生徒が3名いた。今年度から1年生で受講することで、3学期の総合実習でチェーンソーを扱うことができるようになった。また、1年生の感想を見ると、大変前向きな意見が多く、早期受講は大変意義があると感じる。昨年度同様、学校会場で受講できたことで、移動手段に心配がなくなったが、次年度以降はセンターでの受講になる見込みである。 3年生については5名が受講し、無事に修了できた。確認テストや実技において真剣に取り組む姿が印象的であった。 新型コロナウイルス対策のため、宿泊せずに日帰り対応だった。次年度以降も、移動手段が課題である。</p>	<p>活動場所: 高知県立森林研修センター、高知農業高校 連携団体: 高知県労働力確保支援センター</p>

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

## 令和4年度事業実績報告書

四万十高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
森林環境保全事業	高知県や日本の抱える環境問題について、専門機関からの講義を受け、現状を知ることによって今後の対策について考える。 また、四万十川流域の環境を調査、保全することで自然の在り方について考える。	森川海学習 [1学期] 5/12 川学習①(1年生 6人)校外 6/23 森学習(1年生 6人 2年生 9人)校外 講師 森林インストラクター 塚地 俊裕 氏  [2学期] 9/9・10 海学習②(2年生 9人)校外 講師 海辺の自然史研究舎 中地 シュウ 氏 ・磯の生態調査、生物分類 ・海中の状態調査 ・高知県西沿岸部の現状について講義 10/20 川学習②(1年生 5人)校外 講師 公益財団法人 四万十川財団 神田 修 氏 10/18 ツキノワグマの生態について(2年生9名) 校内実施 11/1 コウモリの生態について(2年生9名)校内実施 11/22 タヌキの生態について(2年生9名)校内実施 11/29・12/20 解剖実習(2年生9名)校内実施 講師 越知町横倉山自然の森博物館 谷地森 秀二 氏  [通年] 環境学探究 (3年生 4人) 週3時間(年間66時間) 校内20回、校外10回実施  四万十川および橋原川の水質調査(毎月1回) (3年 1人)	講師の高齢化により、継続して同様のフィールドワークを実施するための講師確保。  正確な生物分類を行うための図鑑などの確保。  解剖実習が苦手な生徒への学習機会を保障すること。	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

# 令和4年度事業実績報告書

橋原高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
<p>森林環境保全事業費</p>	<p>1 高知県森林技術センターと連携し、「車両系建設機械技能講習」を受講し、将来の林業現場を担う人材育成を図る。</p> <p>2 高知県森林技術センターと連携し、「可搬式林業機械特別教育」を受講し、将来の林業現場を担う人材育成を図る。</p>	<p>1 車両系建設機械運転技能講習の受講</p> <p>令和4年8月22日(月)～26日(金)の5日間、高知県森林研修センターで車両系建設機械運転技能講習を受講した。</p> <p>受講者:1 農業コース3年生 2名 男子:2名(取得)</p> <p>修了証発行機関:高知県林業労働力確保支援センター</p>	<p>車両系・可搬式講習の目的としてまず、2年次より農業を学ぶために農業に対する関心や興味を引き出す活動として、また将来の進路(農業従事者、林業従事者)など動機づけとしている。しかし、今年度も農業コース生は、部活動(特に野球部)に多く在籍しており、可搬式の受講者は、0名となってしまった。来年度も今年度同様になると考えられるが、将来の林業従事者育成を目指し実施していきたい。</p>	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。



## 令和4年度事業実績報告書

高知県立幡多農業高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
森林環境保全事業 ① 車両系建設機械運転技能講習	森林整備と林業生産に必要な技術を習得し、将来の林業技術者を育成する。また、専門的資格を取得することにより、職業選択の幅を広げる。	令和4年8月1日(月)～8月5日(金) 高知県立幡多農業高等学校及び高知県森林技術センターで車両系建設機械運転技能講習を受講した。(3年生10名) * 発熱等により、実技について8/24～26(3日間)3名がこの日程でおこなった。 講師:西原 洋年 氏	資格を取得することで林業従事者を育成することを一つの目標としているが、林業関係へ就職2名(県職1名、森林管理局1名)、土木造園関係へ1名であった。実習等を通して専門職へ興味を持たせることができるよう取り組んでいく。	資格取得後、本校体験入学(オープンキャンパス)では、生徒が中学生に、重機の操作を実演しながら説明し、体験学習を実践した。
② 伐木等の業務に係る特別教育・刈払機取扱作業安全衛生教育講習	森林管理に必要な技術を目指し、将来の林業従事者を育成する。また、専門的資格を取得することにより、職業選択の幅を広げる。	令和4年7月19日(火)～21日(木) 高知県立幡多農業高等学校で受講した。(2年生18名) 講師:立石 憲生 氏	実際の現場で林業機械に触れることのできる実習となるが、間伐ではチェーンソーの台数や時間の関係で全員が伐倒するまでに至っていない現状である。	
③ 林道の整備および間伐・集材・加工	保安林(水源かん養)である学校演習林の林道整備と間伐・集材・加工を通して、森林環境の保全について体験学習をするとともに、間伐材を有効利用することで森林環境学習につなげる。	台風など大雨によって削られた路面をバックホウや運搬車などの機械操作を実践しながらの補修、林道にかかる雑木や雑草を刈り払い機、チェーンソーなどを使い除去することで、林業機械の実践とともに間伐材の搬出に必要な林道の整備を行う。今年については、本校OBである澤田林業さんに来ていただき伐倒方法や林道整備の説明受けをうけて実習をおこなった。(1月30日:2年生18名) 間伐材を搬出、製材し木材加工実習の材料とすることで森林環境と木材の有効利用について学習する。(12月14日:3年生14名)	雨や風により崩れた林道のままでは森林管理に大きな影響を与えるため、グリーン環境科のなかでも必要不可欠な実習となっている。今後も森林管理や間伐材の有効利用の実践を通して、体験的に学ぶ機会を確保したい。	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

# 令和4年度事業実績報告書

高知県立高知北高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
総合探究 「私たちと環境」	高知県の豊かな自然環境を題材とし、森・川・海と結ぶ生態系の成りたちについて学ぶとともに、人の生活と自然の共生について理解する。  【前期(4~9月)】学校の近くを流れる鏡川の水質調査などの野外実習を行い、自然を体感する機会を増やす。また、高知の植生や森林資源の活用・歴史について学び、小物や木彫りの作成に取り組む。さらに、ヤイロチョウの生態等について学習し、森林環境の保全について考え、将来の森林資源活用や自然環境の保全に取り組む姿勢を育成する。	【前期】①オリエンテーション、鏡川散歩 4/15(1年男2名・女4名,2年生男3名・女3名,3年生男1名・女1名,4年生男0名・女1名 合計15名) 高知の自然環境と森林についてクイズ形式で授業を行い、半年間の学習の内容を説明した。自然に関する興味や関心についてアンケート調査を行った。興味を持っている生徒が多く、野草や鏡川の生き物、これからの取り組みについて話をしながら活動できた。鏡川河川敷のゴミ拾いのボランティア活動を通して、参加者の交流をはかった。		
		② 浦戸湾について、水生生物事前学習4/22(1年男2名・女4名,2年生男3名・女3名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計16名) 森林と海のつながり、浦戸湾の特徴や干潟の生態系について学習した。		
		③鏡川水質調査 5/27(1年男2名・女4名,2年生男2名・女3名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計15名) 鏡川中流域の水生生物の採集・分類を行い、鏡川の水質について考察した。	ウナギやカニなども確認でき、鏡川の豊かな生態系を体感できた様子であった。	
		④ 木工作品作り:刻字 6/3(1年男1名・女3名,2年生男2名・女4名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計14名), 7/1(1年男2名・女4名,2年生男1名・女3名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計14名), 8/26(1年男1名・女3名,2年生男2名・女4名,3年生男1名・女1名,4年生男0名・女1名 合計13名) 高知県の森林資源の活用について学習し、のこぎり・彫刻刀等の身近な木工道具の使用方法を修得しながら、ヒノキで刻字作品を制作した。集中して取り組む生徒が多く、木の香りや触感を楽しんでいた様子であった。	文字を題材にするため、選字に時間がかかる生徒もいたが、彩色に工夫したり、楽しんでいる様子が見られた。	
		⑤ヤイロチョウの森講演 6/17(1年男2名・女4名,2年生男2名・女4名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計10名) 生態系トラスト協会の中村滝男さんをお招きし、ヤイロチョウの生態について貴重な動画を視聴しながらお話をうかがった。生態系トラスト協会主催の「写真・動画・作文コンクール」に作文を応募することができた。	サンジャクのはく製なども観察することができ、外来生物の影響について考えることができた。	講師依頼
		⑥バードカービング実習 6/24(1年男2名・女4名,2年生男2名・女4名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計10名) 指導者として堀田幸生さんをお招きし、県内に自生する季節の木々を材料に野鳥の木彫りを行った。樹皮の肌触りや木のおいなどを感じながら実習できた。	小刀を使っただけの作業で、使い慣れない生徒もいたが、全員が作品を仕上げる事ができた。	指導員依頼
		⑦構原町 構原町の森林資源について 7/8(1年男1名・女3名,2年生男1名・女4名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女1名 合計13名) 構原町森林組合森林整備課 武田勇希さんをお招きし、「構原町の森林・林業・環境の取組について」というテーマで講演をしていただいた。写真を交えわかりやすくお話していただき大変興味深かった。生徒も熱心にメモをとりながら参加できた。	杉やヒノキの枝やチップなども持ってきてくださり、実物を見ながらお話を聞くことでより理解が深まったようだ。実物に加え、森林整備の動画も見せてくださり、職場としての「森林」にも興味を持てたようだ。	講師依頼
⑧牧野植物園訪問 7/15(1年男2名・女3名,2年生男2名・女4名,3年生男2名・女1名,4年生男0名・女0名 合計14名) 牧野植物園で高知県にみられる森林等の植生について説明し、スケッチを行った。牧野博士の資料館において説明を行った。	天候にも恵まれ、生徒は興味を持って熱心に観察できていた。	貸切バス		

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

令和4年度事業実績報告書

高知県立高知北高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
総合学習 「私たちと環境」	【後期(10~2月)】学校の近くを流れる鏡川のバードウォッチングなどの野外実習を行い、自然を体感する機会を増やす。また、高知の植生や森林資源の活用・歴史について学び、小物や木彫りの作成に取り組む。さらに、ヤイロチョウの生態等について学習し、森林環境の保全について考え、将来の森林資源活用や自然環境の保全に取り組む姿勢を育成する。	【後期】①オリエンテーション 10/7(1年男7名・女4名,2年男3名・女2名, 合計16名) 高知の自然環境と森林についてクイズ形式で授業を行い、半年間の学習の内容を説明した。自然に関する興味や関心についてアンケート調査を行った。興味がある生徒が多く、野草や鏡川の生き物、これからの取り組みについて話をしながら活動できた。		
		②ヤイロチョウの森講演 10/14(1年男7名・女4名,2年男1名・女2名, 合計14名) 生態系トラスト協会の中村滝男さんをお招きし、ヤイロチョウの生態について貴重な動画を視聴しながらお話をうかがった。	学んだ事を次の学習(バードウォッチング)に繋げていく。	講師依頼
		③バードカービング実習 10/21(1年男7名・女4名,2年男3名・女2名 合計16名) 指導者として畑田幸生さんをお招きし、県内に自生するヤマモモの樹を材料に野鳥の木彫りを行った。樹皮の肌触りや木のにおいなどを感じながら実習できた。	小刀を使っての作業で、使い慣れない生徒もいたが、全員がすばらしい作品を造ることができた。	指導員依頼
		④木工作品作り:刻字 11/4(1年男6名・女2名,2年男3名・女2名,合計13名), 1/13(1年男7名・女4名,2年男2名・女2名, 合計15名), 1/27(1年男6名・女2名,2年男3名・女2名, 合計13名) 高知県の森林資源の活用について学習し、のこぎり・彫刻刀等の身近な木工道具の使用方法を修得しながら、ヒノキで刻字作品を制作した。集中して取り組む生徒が多く、木の香りや触感を楽しんでいた様子であった。	文字を題材にするため、選字に時間がかかる生徒もいたが、彩色に工夫したり、工夫を楽しんでいる様子が見られた。	
		⑤鏡川野鳥観察 12/9(1年男6名・女1名,2年男3名・女2名, 合計12名) 鏡川中流域で越冬する渡り鳥を観察しながら、鏡川の生態について学習した。熱心に観察することができ、皆で楽しい時間を共有した。		
		⑥牧野植物園の見学 12/16(1年男7名・女1名,2年男3名・女2名 合計13名) 牧野植物園で高知県にみられる森林等の植生について説明し、スケッチを行った。天候にも恵まれ、生徒は興味を持って熱心に観察できていた。		貸切バス
		⑦橋原町 橋原町の森林資源について 1/20(1年男4名・女3名,2年男3名・女2名, 合計12名) 橋原町森林組合森林整備課 武田勇希さんをお招きし、「橋原町の森林・林業・環境の取組について」というテーマで講演をしていただいた。写真を交えわかりやすくお話していただき大変興味深かった。生徒も熱心にメモをとりながら参加できた。	実物に加え、森林整備の動画も見せてくださり、職場としての「森林」にも興味を持たれた。	講師依頼
		高知県の豊かな自然環境を題材とし、森・川・海と結ぶ生態系の成りたちについて学ぶとともに、人の生活と自然の共生について理解する。	半期ごとに受講生が変わるので、森林環境について考えることができる人材をより多く育成できる体制になった。 講師の先生方は本校への理解も深く、クイズ形式や具体物を用いて興味関心が高まる授業をしてくださる。生徒たちは木や生き物に対する愛情を感じる授業を受けることができ、大変刺激を受けていたようだ。また、貸し切りバスを利用することで、遠方への実習が可能になり、木や森をより身近に感じられる授業内容になっている。 今年度はコロナ禍により中止になる学校行事もあったが、総合探究の授業は概ね予定通り実施することができた。	

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

# 令和4年度事業実績報告書

嶺北高等学校

事業名	目標	活動内容	課題	備考
可搬式林業機械(チェーンソー・刈払機)研修	可搬式林業機械研修 可搬式林業機械を安全かつ適切に扱う能力は、今後の嶺北地域環境の創造を担う高校生にとって必要不可欠な技術である。具体的には、林業に従事するために必要なチェーンソーや刈払機の構造や安全な操作、点検についての知識と技能を習得する。 また、今後農援隊活動として取り組む草刈りなどにも生かせる技術を習得する。	可搬式林業機械研修 講師 土佐町森林組合 鳥山 太郎 氏 農業コース 3年10名、2年7名 17名参加 1日目 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育(学科) 刈払機に関する知識 刈払機を使用する作業に関する知識 刈払機の点検及びその予防に関する知識 振動障害及びその予防に関する知識 関係法令(実技) 刈払機の作業等  2～4日目 伐木等の業務に係る特別教育(学科) 伐木等に関する知識 チェーンソーに関する知識 振動障害及びその予防に関する知識 関係法令(実技) 刈払機の作業等 チェーンソーの操作 チェーンソーの点検及び整備	全員が受講、可搬式林業機械の知識と技術を習得できた。 炎天下での実技実習があるため比較的涼しい午前中に行えるように講師の方をお願いをした。 今回は土佐町森林組合の協力があり実施することができた。来年度以降について講師の選定に課題が残る。	活動場所: 嶺北高等学校

(注)1 「目標」、「活動内容」、「課題」の各項目は、環境教育・キャリア教育の視点から記入すること。

(注)2 活動内容は年間プログラムのなかでおこなった具体的な活動を学期ごとに記載するとともに、内容やねらい、活動フィールドや連携団体、講師などを記載する。

(注)3 必要に応じ増頁すること。

# 令和5年度森林環境税を活用する事業の補足説明

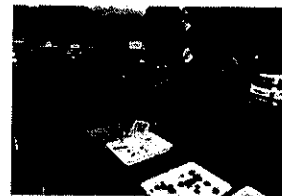
高等学校課

## 高校生森林環境理解事業

河川の水質調査や間伐材利用を通して森林環境保全を理解・支援できる人材の育成を図る。

### ○四万十高校

森、川、海学習を実施し、四万十川の水質調査や、森林植生、生物調査を行っている。また、幡多郡大月町での海学習(図1)では、豊かな森づくりが、豊かな海づくりにつながることを学び、森林環境を維持していくことの大切さを学ぶ。令和5年度からは3年生の環境学探究活動を実施し、1年生から3年生までを見通した系統的な環境学習に取り組んでいる。



(図1) 海学習

### ○高知北高校

鏡川の清掃活動の実施や水生生物の採集・分類・調査を通して鏡川の水質、生態系全体のつながりを学習している。また、県産材を利用した木工に取り組む、作品製作(図2)を通して、森林資源活用や自然環境の保全に取り組む姿勢を育成する。



(図2) 木工品の製作

### ○窪川高校

地域の森林に着目し、植生調査を行い、林内の生態系の状況や変容について学ぶ。町内で活躍する木材加工に携わる方から、木材の有用性や森林の多面的機能など、森林が人間に与える様々な恵みについて学び、森林環境の保全について考え、行動する姿勢を育成する。

### ○幡多農業高校

間伐材利用事業では、学校演習林での間伐・集材・林道整備(図3)などの作業を行い、搬出した間伐材を有効利用し、木工品を製作して、森林環境と木材の有効利用について学ぶ。



(図3) 林道整備

### ○嶺北高校 (R5年度から実施)

嶺北地域の林業事業所が管理する森林の現場に視察を行い、適切な森林管理が環境保全につながることを間近で感じ、森林環境への理解を深めていく。

R 4 - 1 0 ( R 5 - 1 )

山の学習支援事業

(林業環境政策課)

# 山の学習支援事業

## 1 目的

「本県の豊かな森林環境を子供たちに気付かせ、その体験活動を通して生きる力を育むための森林環境学習及び木育（県民の生活に必要な物資としての木の良さ及びその利用の意義を学ぶ活動をいう。）の推進の担い手となる指導員を養成すること」

## 2 補助事業者、事業実施主体

事業区分	事業内容	補助事業者	事業実施主体
1. 山の学習支援	「総合的な学習の時間」等において年間を通して森林環境学習を实践する事業のために要する経費への支援	公益社団法人高知県森と緑の会	市町村、市町村教育委員会、学校組合、県内で小中高等学校を運営する学校法人又はその私立小中高等学校、国立大学法人高知大学に附属する小中学校等
2. 山の一日先生派遣	森林環境学習の研修等を行う指導者を派遣する事業に要する経費への支援	公益社団法人高知県森と緑の会	市町村、市町村教育委員会、一部事務組合（以下「市町村等」という。）、県内に事務所等を置く法人若しくは任意団体又は県内に居住する個人
3. 木育指導員養成	木育推進の担い手となる指導者を養成するために実施する研修等に要する経費への支援	公益社団法人高知県森と緑の会	

※ ただし、国若しくは県が実施する他の事業若しくは緑の募金を活用して助成する事業として採択された場合又は事業実施主体が市町村、市町村等で当該補助事業の総事業費から補助金額を控除した市町村等費の財源に森林環境譲与税を充てたときは、補助対象外とする。

## 3 補助率、補助金額

定額（山の一日先生派遣で、事業実施主体が市町村等の場合は事業実施に要する経費の2分の1以内）

補助金額の上限	(1) 山の学習支援	対象児童又は生徒の数	補助金額の上限
		50人未満	20万円以内
	50人以上100人未満	40万円以内	
	100人以上200人未満	60万円以内	
	200人以上300人未満	80万円以内	
	300人以上	100万円以内	
	(2) 山の一日先生派遣	75万円以内	

## 4 令和5年度予算額

29,311千円（山の学習支援に19,515千円、山の一日先生に6,750千円、木育指導員養成に590千円、附帯事務費2,456千円）

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	実績		備考
						事業費	補助金額	
1	安芸	東洋町	甲浦小学校	豊かな自然の恵みに感謝しよう	28	153,214	153,214	153,214
2		室戸市	佐喜浜小学校	身近な木や植物に親しみ、森林や自然の大切さについて考えよう	11	49,550	49,550	456,335
3			羽根小学校	海、川、山のつながりを体験を通して学び、室戸の文化と環境を考えよう。	55	290,753	290,753	
4			羽根中学校	高知県の森林環境と林業を学ぶ	10	116,032	116,032	
5		奈半利町	奈半利中学校	ふるさとの自然を見つめなおそう	16	89,036	89,036	89,036
6		安芸市	井ノ口小学校	自然から学ぼう	70	113,126	113,126	360,584
7			下山小学校	自然体験や雑草栽培を通して、自然の恵みを知り、自然愛護の心情を育てる	8	108,422	108,422	
8			土居小学校	山に親しもう	40	139,036	139,036	
9		芸西村	芸西中学校	身近な自然に触れ、森林の役割やわたしたちの日常生活とのかかわりについて学ぶ。	74	252,845	252,673	252,673
10	高知東	香南市	野市小学校	身近な自然に触れ、季節の変化を五感で感じよう。自然を大切にする気持ちをもとう	189	466,966	466,966	466,966
11		香美市	舟入小学校	秋の自然を楽しもう	37	154,558	154,558	1,931,435
12			山田小学校	ふるさと香美市の自然と人々の暮らしについて学ぼう ～香美市の森を守り隊～	78	322,480	322,480	
13			楠目小学校	私たちのたから～香美市の山-物部川～	216	514,380	514,380	
14			片地小学校	見て、触れて、感じて考えよう。山、川、海、森林の大切さ!	46	185,188	185,188	
15			香長小学校	森林の環境について考え、生命を育む自然の尊さを学ぶ	81	61,267	61,267	
16			大宮小学校	～森林の恵みに感謝～	54	150,022	150,022	
17			大橋小学校	「郷土を愛し、心身ともにたくましい児童の意成を図る」	20	182,940	182,940	

1,033

3,349,815

3,710,243



### 事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	実績		備考
						事業費	補助金額	
18	香美市		鏡野中学校	森林の働きを知り、森林の大切さや生物多様性について考える	135	215,600	215,600	
19			香北中学校	山の活動を通して自主性を育み、郷土の森林や環境について理解を深める。	36	0	0	
20			大栃中学校	持続可能な自然環境を地域と共に守り、再生させる。	25	145,000	145,000	
21	南国市		鷹ヶ池中学校	学校林の整備と保全	156	488,600	488,600	488,600
22	高知東		第六小学校	自然とともに生きるわたしたちのくらしを見つめよう	98	249,800	249,880	5,219,167
23			江ノ口小学校	森・川・海のつながりと森の役割を学ぶ森林環境学習	37	76,488	76,488	
24			旭東小学校	森林の役割と山・川・海の働きを考えよう	103	420,487	420,487	
25			潮江東小学校	特色ある地域と人々のくらし	44	123,024	123,024	
26			初月小学校	高知の山と友だちになろう	221	573,450	573,450	
27			横浜小学校	いのちをみつめて(山・海・川の学習を通じて)ー地球のいのちー	60	352,286	352,286	
28			浦戸小学校	山の生物や植物を知ろう	46	110,960	110,960	
29			五台山小学校	森林と人の関わりを知る	10	61,248	61,248	
30			高須小学校	「自然がはぐくむいのち 草花・樹木を通して自然を考えよう」	89	301,400	301,400	
31			一宮小学校	緑豊かな高知の森林を守ろう	85	255,511	255,511	
32			鴨田小学校	高知県の自然環境と森林の現状について学ぶ	346	791,480	791,480	
33			一ツ橋小学校	全国森林率第1位高知県の森林の大切さを知り、自らの生活環境に結び付ける。	65	236,587	236,587	
34			泉野小学校	いずみの森を楽しもう	578	373,660	373,660	
35			横浜新町小学校	いのちをみつめて(森林学習を通して)ー地球のいのちー	94	241,240	241,240	
36			介良潮見台小学校	森林の恵みを生活に生かそう	216	234,208	234,208	

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	実績		備考
						事業費	補助金額	
37	高知東	高知市	横内小学校	地域の自然の良さを知り、森林の働きを学習しよう	370	579,800	579,800	
38			横浜中学校	校区の身近な山・川・海のつながり	353	69,540	69,540	
39			義務教育学校 行川学園	森林と私たちの暮らしの結びつきを考えよう	52	167,918	167,918	
40	嶺北	大豊町	大豊学園	緑の大豊町に学ぼう	82	109,938	109,938	109,938
41		本山町	本山小学校 吉野小学校	嶺北地域の山の生活(森林学習と山に関わる体験を通して)	25	165,250	165,250	165,250
42		土佐町	土佐町小学校	土佐町森林プロジェクト	51	130,419	130,419	130,419
43	高知西	土佐市	蓮池小学校	高知県の豊かな自然環境について学ぶ森林環境教育	27	72,600	72,600	712,013
44			高石小学校	身近な自然にふれあい、自然を大切に、自然を生かしたこれからの生活を考えよう。	81	170,770	170,770	
45			高岡第一小学校	SDGs(持続可能な開発目標)について理解を深めよう 森林環境教育～高知県の豊かな自然環境を体験しよう～	74	307,843	307,843	
46			波介小学校	ふるさと自然を知ろう	29	160,800	160,800	
47	高知西	いの町	吾北中学校	吾北の'川(仁淀川)'と'山'、そして'人'との関わりを体験的に学ぶ ～吾北を知り 吾北を体験し 吾北を考える～	22	130,470	130,470	426,235
48			神谷中学校	ふるさと【神谷】の自然を体感し、その未来を考える	13	71,500	71,500	
49			伊野南中学校	いの町の山の良さ、大切さを学ぶ ～木材に親しむ～	16	160,943	160,943	
50			川内小学校	いの町・川内地区の山や川の良さ、大切さを学ぶ～仁淀川・手漕ぎ和紙・森林に学ぶ～	25	63,322	63,322	
51	高知西	佐川町	佐川小学校	さかわの自然にふれる・さかわの植物にふれる	107	281,995	281,995	567,328
52			斗賀野小学校	ふるさとを愛し、地域の未来を創り出すとかのっ子	148	123,006	123,006	
53			尾川小学校	尾川地区の森林の大切さを知ろう	17	57,143	57,143	
54			黒岩小学校	黒岩の森を守ろう	40	105,184	105,184	

事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	実績		備考
						事業費	補助金額	
55	高知西	日高村	能津小学校	身近な山の自然に親しもう	17	199,646	199,646	846,688
56			日下小学校	人と自然のつながりを考えよう ～山や森林を通して～	83	396,115	396,115	
57			日高中学校	身近な自然に触れ、森林の役割やわたしたちの日常生活とのかかわりについて学ぶ。	65	250,927	250,927	
58	須崎	須崎市	吾桑小学校	森林と深く関わりのある仕事に従事している方々のお話や、様々な体験活動を通して、森林の働きや自然環境の大切さを学ぶ。	49	56,555	56,555	240,773
59			新荘小学校	わたしたちの新荘川と森林の働き	9	91,498	91,498	
60			南小学校	自然に親しみ環境を守ろう	20	92,720	92,720	
61		四万十町	米奥小学校	ふるさとの山と山の恵みを感じよう	22	199,949	199,949	
62	東又小学校		未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる・地域とともに～学校林・ピオトープ～	59	384,204	384,204		
63	幡多	黒潮町	兼ノ川小学校	森林の与える恵みを知り、森林保護・環境保全の大切さを学ぶ。	16	104,807	104,807	264,637
64			三浦小学校	山の恵みを「知る・生かす・楽しむ」	32	129,000	117,000	
65			上川口小学校	海・山・川のつながりを理解し、地球環境問題について考え行動化する	46	42,830	42,830	
66		四万十市	中村小学校	～山・川・海 四万十川の源を知ろう！～	250	92,869	90,869	535,564
67			利岡小学校	山と川の命 ふるさとを守ろう	22	134,400	134,400	
68			東中筋小学校	森林体験学習を通して、地域の自然や環境について考え、環境保全を考えた行動ができるようになろう。	38	90,000	90,000	
69			西土佐小学校	森林の大切さや地域の基幹産業であった林業の今昔等について理解を深め、山や森の環境を守ろうとする心情を養う	39	69,775	69,775	
70			西土佐中学校	ふるさと西土佐を「知る」「学ぶ」「生きる」	42	150,520	150,520	

609 2,465,815

2,471,815

### 事業実施主体一覧表

番号	地域区分	市町村(学校組合)名 学校法人名等	学校名	事業テーマ	児童・ 生徒数	実績		備考
						事業費	補助金額	
71	幡多	宿毛市	橋上小学校	山と川のはたらきを知り、海とのつながりを考える。	11	155,400	155,400	1,470,252
72			小筑紫小学校	高知県の豊かな自然環境について学ぶ森林環境教育	33	139,100	139,100	
73			山奈小学校	「山・川・海の繋がりを通して、森林の大切さや恵みについて学ぼう」	84	365,480	365,480	
74			大島小学校	森林の大切さや海とのつながりを学び、自然の大切さや環境について考えよう	93	256,952	256,952	
75			宿毛中学校	自然の中での体験活動やボランティア活動を通して自主性を涵養し、郷土の自然や環境について理解を深める。	173	368,865	368,865	
76			橋上中学校	山・川・海の関連性を学び、自然とともに共生する心を育てる。	7	197,455	184,455	
77			大月町	大月小学校	黒海づくりを通して、山と海をつながりを知り環境保全について考えよう。	130	419,852	
78	私立	学校法人 日吉学園	とさ自由学校	身近な自然に触れ親しむ活動を通して、生き物同士のつながりや人と自然との関わりに気づく	78	90,677	86,368	86,368
79		学校法人 土佐塾学園	土佐塾中学 高等学校	学校周辺に生息する野生動物調査と森林の役割について	20	33,371	30,371	30,371
80		学校法人 高知学園	高知小学校	森林や植物について学ぶことで、自然の恵みの大切さを知り、豊かな自然環境を守っていかうとする態度を育てる。	122	106,660	93,860	93,860
合計					6,569	16,148,912	16,088,711	16,088,711

751 2,133,872  
6,569 16,148,912 2,087,703 16,088,711

- (注)1 番号は、別紙4の番号と一致させてください。  
 2 「地域区分」欄については、事業実施主体が所在する区域(林業事務所管轄区域)を記入してください。  
 3 「市町村名」欄については、事業実施主体が所在する市町村名を記入してください。  
 4 必要に応じて、増行、増項等を行ってください。

事業実施主体一覧表

事業区分	地域区分	実施団体名	事業概要	参加者数	実績		備考
					事業費	補助金額	
山の一日先生派遣	高知東	情報交流館ネットワーク	「こうち山の日」の制定趣旨に沿って、自然を大切にすることの心や、木のぬくもり、木と人との関わり、山(森林)を守り育てることの重要性等について次代を担う子どもたちに伝えることを目的に、森林環境学習と体験(木工工作、自然体験、ネイチャーゲーム、間伐体験など)を組み合わせたプログラムを37回実施し、体験を通して楽しみながら森林環境への理解を深める機会を提供した。	1,551	832,470	464,670	
	高知東	一般社団法人高知県山林協会	「木の文化」を身に付け、活動できる人材を養成すると共に、木や森に関わる人々の技術や伝統を伝え、将来を担う子どもたちに「木の文化」が身に付くような学習の支援を行った。地域の学校等の要望に応じ「山の一日先生」を派遣、または高知県山林協会が指定管理している高知県立甬雲ヶ峰森林公園を活用して「木を育てる」「木に親しむ」「木を活かす」という高知県の木の文化県構想の趣旨に則り、様々な学習・体験活動を48回実施した。	2,377	1,031,559	750,000	
	高知東	体験活動高知	幼保小中等を対象に環境、高知の山のこと、森林環境税のこと、自然を大切にすることなどを学習する機会として、自然体験導入の万華鏡づくりや木と触れ合うバードカービング、竹コマなどの自然物工作を28回実施した。年齢や季節、要望に応じたものづくりを行い、森林環境学習につなげた。	847	409,945	409,945	
	高知東	ヒラコラボ	森林の役割や暮らしとの関わりを知り、森林の持つ課題、問題点などの現状を知り、生活とのつながりや私たちに何ができるのかを考える機会を提供した。座学と木工クラブや自然体験活動を通じて森への意識・関心を持ち、森林を守り育て活かす取り組みにつながるよう講座を17回実施した。	579	533,716	529,816	
	高知東	相愛	総合的な学習の時間において、学校周辺にある自然を活用した自然体験学習を行い、自然環境への興味・関心を高め、多面的に地域の現状について考える機会を提供した。生き物調査や学習を2回行い、生き物が暮らしやすい環境を維持するために周囲の森林や里山環境が重要であることを学んだ。	26	84,532	84,532	
	高知東	地球温暖化防止活動推進員の会	地球温暖化防止活動の一環として小学生を対象に木育学習を7回実施した。炭酸同化作用の学習と円形木琴づくりを組み込み、暮らしに木製品を取り入れることが地球温暖化防止につながることを学んだ。	136	232,572	232,572	
合計				5,516	3,124,794	2,471,535	

(注)1 「地域区分」欄については、実施団体が山の一日先生の派遣を行う主たる事業実施区域(林業事務所管轄区域)を記入してください。  
2 必要に応じて、増行、増項等をしてください。

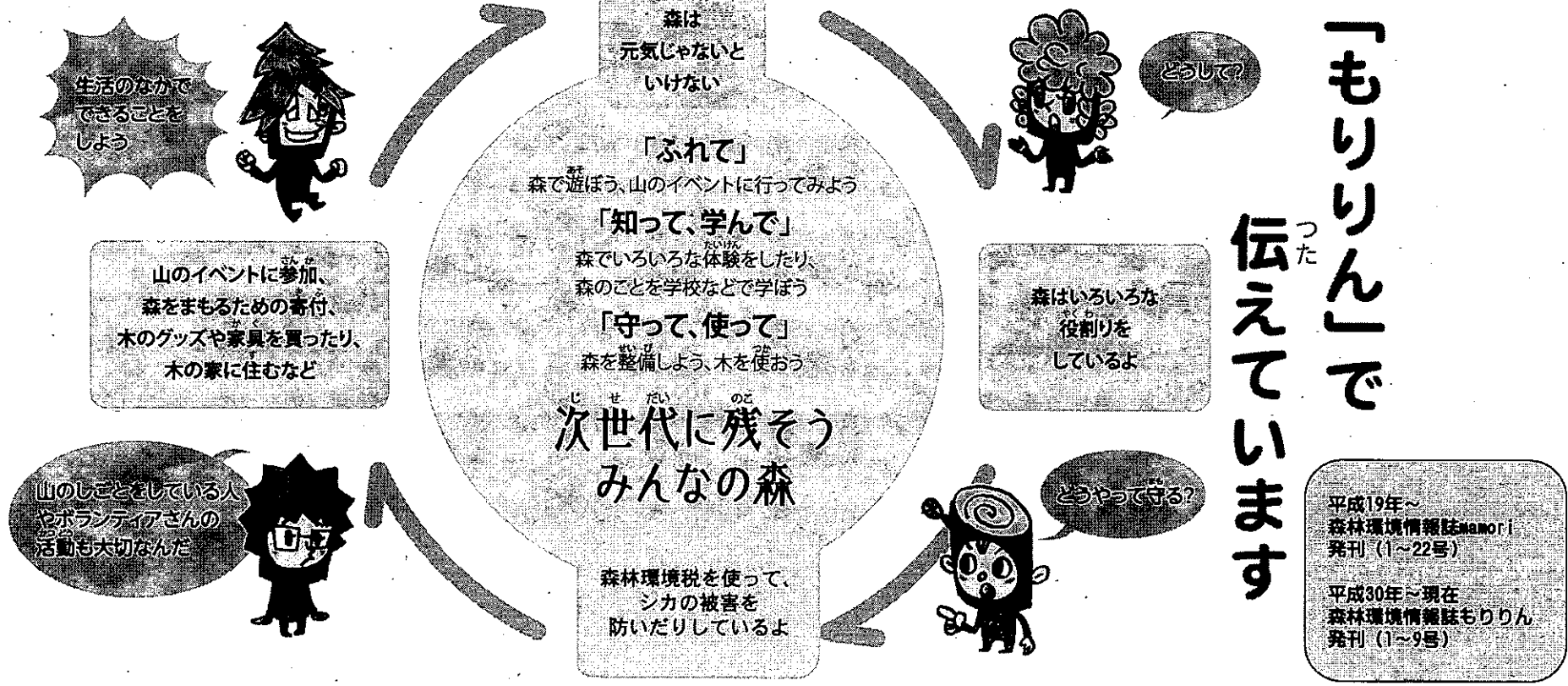
R 4 - 1 1 ( R 5 - 9 )

森林環境情報誌作成等委託料

(林業環境政策課)

# もりりんは、どのような目的で発行されているの？

森林の持つたくさんの機能や役割<sup>やくわ</sup>を理解して、県民みんなで森林を守ることの大切さを知ってもらうために年2回発行しています。



「もりりん」で  
伝え<sup>つた</sup>ています

**山や森のこと**  
「もりりん」を読んでほしいな。

**森のためにあなたができること**  
私たち一人ひとりが、森の中に入って、手入れをするにはむずかしいですが、生活の中で、森をまもるためにできることがあります。

**元気の森をまもる人たち**  
暮らしてまわっている自然な森が育つためには、雨や日光など自然のチカラも必要ですが、人の手によるお世話をすることが大切です。

**森のはたらきと私たちの暮らし**  
木が空気清浄や、生きものがたくさんいる森は、目に見えない「森」の恵みやまはなれたら生きていきません。たねや、土、水、空気などを防いだり、雪の重さをしりとり川へ流したりする「森」の恵みを感じて暮らすことができます。

**元気の森で暮らす日本は、人口が多く、工業がはかなる国です。おおよそその分の面積が森という世界でもめずらしい国です。これは昔から人びとが森を大切に育てながら、生活に利用してきたおかげです。**

そして、森のはたらきによって川や海は豊かになり、自然災害も軽減されるようになっていきます。元気の森をまもり育てることは、自分たちの暮らしをまもることに繋がります。



R 4 - 1 2 ( R 5 - 1 0 )

森林環境学習フェア等開催委託料

(林業環境政策課)





業務名 もくもくエコランド 2022 第5回森林環境学習フェア

業務の目的 幅広い方々に森林の持つ多面的機能や森林環境保全の重要性を理解し、木材利用や森林への関心を深めていただく機会として開催する

開催日時 令和4年10月22日(土) 両日共 10:00～16:00  
同 10月23日(日)

開催場所 高知市中央公園

来場者数 令和4年10月22日(土) … 2,938人  
同 10月23日(日) … 3,460人 ) 6,398人

【主催】 高知県、高知県木材普及推進協会

【協賛】 (一社) 高知県木材協会、高知県木製品工業連合(協)、高知県木材(協)、高知県木材商業(協)、高知県建具(協)、(公社) 高知県建築士会、(公社) 日本建築家協会 四国支部高知地域会、高知県森林組合連合会、(協) 高知県木材工業団地連盟、高知県中央木材工業団地(協)、土佐林業クラブ、(一社) 高知県山林協会、高知県素材生産業(協) 連合会、(協) 高知木材センター、(協) 高幡木材センター、(協) 西部木材センター、(株) HIKARI 高知龍馬木材市場、(株) 太洋木材市場、高知県林材(株)、ウッドテクノス(株)、(株) 四国銀行、(株) 高知銀行、高知信用金庫、四国労働金庫高知営業本部、(株) 高知前川種苗、高知県信用農業(協) 連合会、ミタニ建設工業(株)、四国建販(株)、(株) 晃立、ヨンケン(株)、高知県建設労働組合高知支部、高知商工会議所

【後援】 NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、(株) エフエム高知、高知ケーブルテレビ(株)、高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、香美市教育委員会、四国森林管理局、(公社) 高知県森と緑の会、高知県立森林研修センター情報交流館、(協) 帯屋町筋、高知県青年林材協会

## 業務概要

業務名	森林保全体験バスツアー in 馬路村
業務の目的	森林の散策、林業現場の見学、間伐・植栽の体験などの実施により、参加者が楽しみながら森林環境保全についての理解や関心を深められることを目的とする
開催日時	令和4年11月27日(日) 07:30～18:00 申込期間:11月1日～11月18日(期間延長21日まで)
開催場所	馬路村森林組合作業場(間伐体験、林業機械作業見学)・ 魚梁瀬丸山公園(森林鉄道乗車体験)
参加者数	11組22名(2組4名が事前キャンセル)
協力	馬路村地域振興課、馬路村森林組合、集落活動センターやなせ(魚梁瀬丸山公園)

### ■実施体制

運営	(株)歳時記屋	小野 政明	総合責任者・現場管理
		津野 泰徳	現場管理・アテンド
		南 晃平	現場管理・アテンド
バス会社	(有)香北観光	熊瀬 文人	代表取締役社長
		池知(イケジ)様	当日ドライバー
体験①	馬路村森林組合	清岡 哲也	間伐体験・林業機械見学
体験②	集落活動センターやなせ	高橋 周子	森林鉄道乗車体験
協力	馬路村地域振興課	濱口 和也	運営協力
主催者	高知県林業環境政策課	竹崎 誠	課長
		上野 泰宏	ご担当者様
		大野 幸一	課長補佐
緊急医療①	田野病院		
緊急医療②	県立あき総合病院		
緊急医療③	馬路村立馬路診療所		

## 業務概要

業務名	森林保全体験バスツアー in 梶原町
業務の目的	豊かな森林の恵への感謝と、山や自然を守ることの大切さへの理解と関心をこのバスツアーを通して深めていただくため
開催日時	令和5年3月12日(日) 07:00～16:45 申込期間:2月5日～3月5日
開催場所	ゆすはら座(講話)・木質ペレット工場(見学)・九十九曲峠(セラピーロードツアー) 梶原町内(隈研吾氏の木造建築視察)
参加者数	46名(事前キャンセル4名、申し込み総数147組232名)
協力	梶原町森林の文化創造推進課 課長 立道様 梶原町教育委員会生涯学習課(ゆすはら座) ゆすはら雲の上観光協会(各プログラムのガイド派遣)

### ■実施体制

運営	(株)歳時記屋	津野 泰徳	総合責任者・現場管理
		島田 裕子	現場管理・アテンド
		射場 一哲	アテンド補佐
バス会社	(有)さくら観光	友永	1号車(5番のりば)運転手
		水田	2号車(7番のりば)運転手
体験①②	梶原町森林の文化創造推進課 課長	立道 斉	運営協力・講話・ペレット工場見学ガイド
体験③④	ゆすはら雲の上観光協会 局長	青木 慎也	セラピーロード・建築視察ガイド派遣
施設	ゆすはら座(教育委員会・生涯学習課)	森山 恵	貸し会場
主催者	高知県林業環境政策課	竹崎 誠	課長
		上野 泰宏	ご担当者様
緊急医療①	梶原病院		梶原町川西路2320番地1

R 4 - 1 3 ( R 5 - 1 3 )

座談会等開催委託料

(林業環境政策課)



### 現状

- 森林環境税は県民参加が大きなポイントであり、県民理解と参加意識を持っていただくことが重要
- 第四期までは、森林環境税の延長のタイミングで座談会等で県民に意見を聞いてきた。
- 第五期森林環境税は、森林環境譲与税と両輪で森林環境保全を進める予定。

### 課題

- 森林環境税の認知度が低い。(73.4%の人が知らない)※
- 県議会や森林環境保全基金運営委員会の指摘で、森林環境税の成果・効果が見えにくいことや県民意見を反映させることが必要との声がある。
- ボランティア団体の活動が低下しており、県民参加の機会が低下している。(R3調査より)
- 森林環境譲与税の認知度が低い。(85.9%の人が知らない) ※R4県民世論調査結果

### 対応案

- 第五期(令和5年~令和9年)を通じて、県民に説明する機会・意見を聞く機会を設ける
- 県民に直接説明する機会を設ける
  - 税の認知度の向上、事業成果の説明
- 県民からの意見を聴取する機会を設ける
  - 参加意識の向上、事業の要望や改善等に反映
  - 地域課題の把握、支援ニーズの把握
- ボランティア団体の課題の中に後継者が不在、新たな団体やキーマンが不在なことがある
  - 地域で森林に関する課題意識を共有、既存団体と新たな団体やキーマンの候補者との交流機会を創出し、掘り起こしを行う
- 森林環境税と森林環境譲与税をセットで説明する機会を設ける
  - 市町村と一緒に森林環境譲与税の説明をすることで認知度の向上と理解を促進

### R5・事業概要

(仮) こうち森からはじまる県民トークin○○

- 開催時期 7~9月の土曜日又は日曜日
- 会場 地域の公共施設or森林公園等
- 主催 林業環境政策課
- 参加者 地域の森林保全ボランティア団体、森林組合、林業事業者、地域で活動する団体、地域おこしのキーマン等(地域おこし協力隊など)、高校生、学校関係者など
- 説明側 県 林業環境政策課、事業課(森林環境税を活用する事業課)、林業事務所、市町村林業担当課(譲与税)

- 内容 ①県や市町村からの説明(森林環境税、森林環境譲与税)
- ②パネルディスカッション(地域の取組紹介)
- ③グループトーク
  - ・課題意識共有
  - ・課題への対応案
  - ・支援ニーズ
- ※アンケートの実施
- ※新聞広告の実施

- 事業費:
- ・会場費、会場設営
  - ・運営
  - ・謝金(司会等)
  - ・広告(チラシ、新聞)
  - ・アンケート集計 等



### R5~R9事業詳細

- R5~R7 (事業費3,150千円) : 座談会(2地域×3年)、林業事務所単位で実施。※意見交換・事業改善
  - R8 (概算事業費6,600千円) : 県民地域座談会(県の次期森林環境税の方向性に対する意見交換会) 県内6地域、県民世論調査(事業費に含まない)、企業アンケート(本事業費を含む)
  - R9 (概算事業費3,800千円) : 県民フォーラム(県の次期森林環境税の方向性の広報を行う)
- ※各年度、開催告知と同時に森林環境税について新聞広報を行う。全5段×2回



	R5年度 (第5期1年目)	R6年度 (第5期2年目)	R7年度 (第5期3年目)	R8年度 (第5期4年目)	R9年度 (第5期最終年)
県民参加	地域座談会(安芸、幡多)	地域座談会(嶺北、中央西)	地域座談会(中央東、須崎)	地域座談会(6地域) 企業アンケート	県民フォーラム

令和6年度以降の事業については会の名称等現段階の想定内容であり、確定したものではありません。

R 5 - 1 1

緑化促進事業

(林業環境政策課)



## 補助の目的

郷土樹種を活用してモデル的な緑化を促進することで、県土の緑化を総合的に推進するとともに、良好な環境の形成と併せて、県民の「緑」に対する理解と関心を高め、緑を育み、守る活動につなげる。

## 補助要件

※記載の補助要件は、案であり、今後変更となる場合があります。

**補助対象者** : 市町村、市町村教育委員会、社会福祉法人、医療法人、財団法人、県内に事務所を置く企業、団体等であって、補助事業完了後も責任をもって継続的に樹木の育成管理を行える団体

**補助対象施設** : 教育・保育施設、地方公共団体の整備する施設、又は木材を利用したPR効果の高い公共的施設

**補助対象経費** : 郷土樹種を活用した、モデル的な緑化における植樹や樹木展示に要する経費、及び植樹や展示に係る費用  
(樹木(成木可)・プランター購入費、運搬費、土壌改良費用、産業廃棄物運搬処理費、工事請負費、設計委託料等)  
ただし事業費400千円を超えること

**補助額** : 市町村、学校等については定額  
その他については補助率1/2以内  
(ただし大企業に該当する場合は補助率1/3以内)

**補助上限額** : 6,000千円/施設

## スケジュール (案)

R5.4 補助要綱の制定、一次募集

R5.5 申請・受付・審査・交付決定

- ・事業着手
- ・事業完了次第報告
- ・検査、支払

※一次募集で予算が余った場合、二次募集を実施予定

## 想定箇所数

○公園等(2施設×事業費3,000千円=事業費6,000千円)

内容：県民が日常的に多く訪れる公園や交通の拠点等に植樹を行うことで、緑と触れあえる環境を整備し、県民の緑に対する理解と関心を高める。

○教育関連施設(2施設×事業費1,000千円=2,000千円)

内容：保育施設などを緑化することにより、児童・生徒などが日常的に緑と触れあえる環境を整備し、木や自然への親しみを深める。

・事業費計：8,000千円





R 5 - 1 2

(甫喜ヶ峰森林公園) Wi-Fi 設置委託料

(林業環境政策課)

## 目的・背景

甬喜ヶ峰森林公園利用実績(人)

調査年度	H31年度	R2年度	R3年度
入園者数	51,563	51,629	58,848



- ・甬喜ヶ峰森林公園は、「**森林に関する知識の普及を図り、もって森林愛護の思想を高めるため**」設置されている施設である。
- ・入園者数は年々増加しており、R3年度の実績は58,848人となっている。
- ・当公園は森林学習の場として利用されることもあるが、**近年の学校教育現場においてはタブレットの利用等、ICT等を活用した教育の取り組みが進んでおり、森林学習においてもこのような技術の使用が望まれる。**
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため遠隔での授業が推進されており、今後さらに需要が増大すると見込まれる。
- ・現状の甬喜ヶ峰森林公園では十分なインターネット接続環境が整備されておらず、**当事業によりインターネット接続環境を整備し、当施設の森林学習施設としての環境の充実を図りたい。**



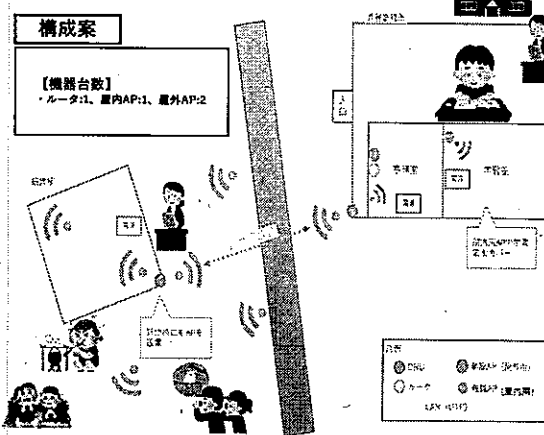
## 事業の概要

・公園内のうち、森林環境教育を実施する主要施設である研修棟、学習室について、**インターネット接続環境を整備するため、無線LAN環境(光回線終端装置(ONU)、及びルータ、アクセスポイント)を設置する。**

・森林環境教育に資する活動について、事前に申請受け付けたものについてはパスワードを開示し、公園利用期間中のインターネット接続を利用可能とする。

・定期的にパスワードを変更し、不正利用防止対策を講じる。

甬喜ヶ峰森林公園無線LAN環境整備



全国の小・中学校のインターネット接続状況・及びタブレット型PC保有状況

調査年度		2014	2015	2016
教室数	小学校	619,534	618,774	617,769
	中学校	347,829	347,152	345,658
インターネット接続可能教室割合	小学校	70%	71%	72%
	中学校	66%	68%	69%
教育用PC現有台数	小学校	900,700	918,799	955,323
	中学校	505,842	518,412	535,210
教育用PCのうちクラス用かつタブレット型PC現有台数	小学校	82,753	137,166	203,156
	中学校	38,822	63,801	95,732

高知県の小・中学校の学級数と生徒・児童人数(R3年度)

	学級数(教室)	生徒・児童数(人)
小学校	1,899	31,226
中学校	825	16,988

小学校 タブレット使用率32%  
中学校 タブレット使用率28%  
※2016時点

県内分に換算すると  
小学校 9,992人分  
中学校 4,757人分  
計 14,749人分  
の環境整備効果が見込める。

新型コロナの流行で、遠隔での教育の需要は高まっており、今後さらなる需要増大が想定される。

【参考値】 生徒児童(全国)高校含む

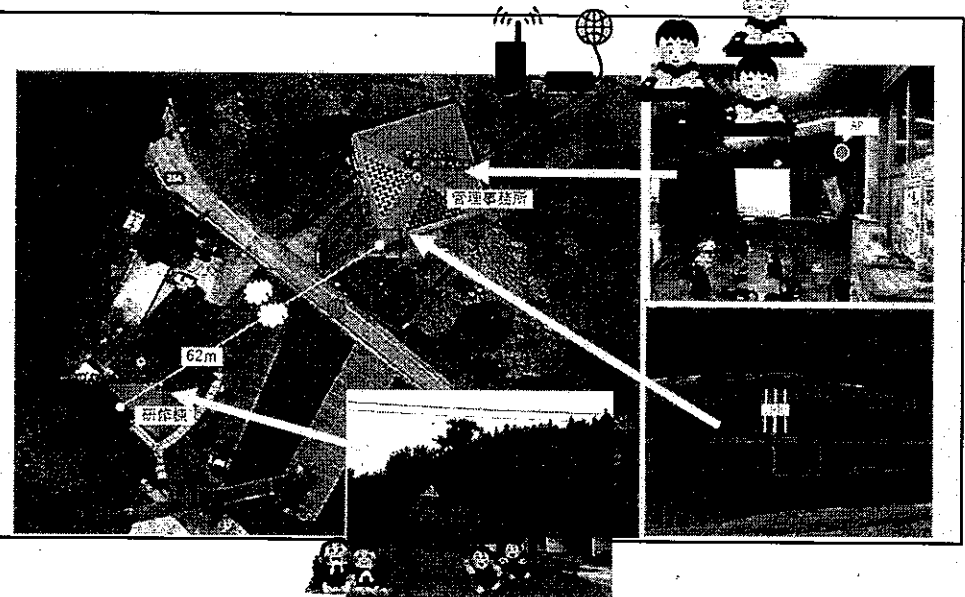
生徒児童1人あたりの教育用PC数(R3年3月1日時点)

H30	H31	R2
0.19台/人	0.20台/人	0.71台/人

インターネット接続率(100Mbps以上)(R3年3月1日時点)

H30	H31	R2
70%	79%	88%

既に教育の現場ではICT活用は普通となっている



## 無線LAN環境整備による具体的な活用例について

学校の当施設利用については、総合的な学習の時間であることが想定されるため、無線LAN環境の用途についても学校の使い方次第となる。森林学習におけるICT等の活用(リモートによる浦喜ヶ峰森林公園での授業の実施)。

### (例)公園内の植生調査 無線LAN使用

- ・ 図鑑のデータをタブレットより確認出来るようにしておく(クラウド格納 or webで閲覧)
- ・ 外業として生徒児童が各自自由に公園内を散策し、見つけた植物を各自写真と同定理由を共有シートに登録。
- ・ 散策終了後、内業として、共有された植物リストについて先生や施設の職員と図鑑とともに答え合わせを行う。
- ・ 課題として共有した植物リストより読み取れる考察を各自記載し共有(=課題提出=記録)する。

### (例)公園内の植生調査 従来の場合

- ・ 散策中に図鑑を持ち歩く必要があり重量が負担となる。
- ・ 事前に各タブレットに保存する方法の場合、誤操作で消去した場合、再表示ができない。
- ・ 見つけた植物について、現物を採取するか個別に写真を確認しないと合っているか確認ができない。植物の採取を禁止しており、個別に写真を確認する場合は確認する先生、職員に大きな負担がある。
- ・ 生徒児童の考察を全員に共有することで、現場で漏れなく意見の拾い上げが行える。
- ・ 提出漏れの確認、課題の整理のための労力が必要であり、生徒児童は提出した課題の確認が出来ない。

## 見込める効果

#### 【生徒、児童】

- ・ 体力の少ない児童生徒への公園内散策の負担軽減
- ・ 見つけた植物の共有により「どこにあったの」等生徒児童同士のコミュニケーションの促進、探索意欲の向上
- ・ 植物の確実な同定等学習効果の向上。
- ・ 課題の振り帰り等得た知識の保存。

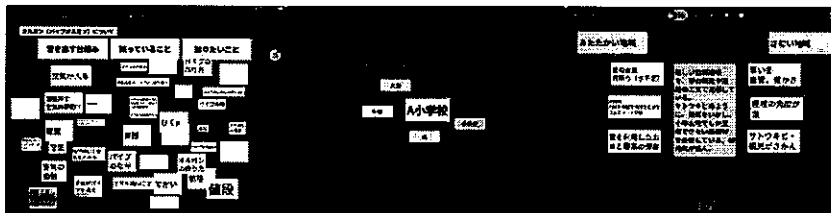
#### 【職員、先生】

- ・ 同定する職員の負担軽減
- ・ 課題提出、整理、保管の事務作業の負担軽減

※手法の例の画像は既存の学校用学習ツール(ロイロノート(県内導入実績あり))のもの

#### アイデア・知識を簡単共有

- ・ 1枚のカードに複数の生徒がどんな自分のアイデア、知識を共有できます。
- ・ グループでの意見の共有や、ブレインストーミングなどに活用できます。



#### 考察の手法の例①

#### 実験方法など必要な情報を事前に共有

資料等に実験の手順を示した資料を入れておくことで、準備が簡単になります。生徒はいつでも実験に必要な準備を確認することができます。また、webカードを使うことで、インターネット上の動画も簡単に閲覧できます。



#### 実験・観察での活用方法

カメラでビデオや写真を撮影することで、実験の結果や経過を記録・提出できます。

#### 写真や動画で実験結果・経過を提出

写真や動画を動かして実験結果を提出することができます。

また、結果だけではなく実験中の様子を撮影しておくことで、実験結果についての考察を深めることができます。



#### 見つけた植物の共有の手法の例

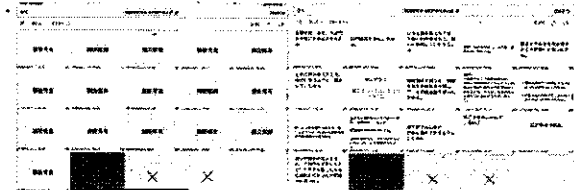
#### 考察の手法の例②

#### カードの色でクラスの意見をすばやく確認

カードの色で「賛成」「反対」、「どの意見を支持するか」などの目的の考えを表現することで、クラス全体の意見をすばやく確認することができます。

#### 実験例 紙飛行機から紙飛行機、何が違うのか?

- 1枚目: 紙飛行機、直線飛行、紙飛行機のうち、誰が一番遠くまで飛ばしたのかで提出されます。
- 2枚目: それぞれの人のどのようだったのか「すばやく」と思ったものを提出します。



R 4 - 1 4

こうち山の日県民参加支援事業

(R 5 - 2)

森林環境学習等推進事業

(林業環境政策課)

令和4年度こうち山の日県民参加支援事業委託業務実績報告書

(森林保全ボランティア活動)

実施日	実施場所	実施内容	実施団体名	参加人数			備考
				参加者	スタッフ	計	
1 5月5日(木)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	13	4	17	
2 5月9日(月)	高岡郡日高村名越屋	森林整備	土佐の森・救援隊	6	2	8	
3 5月20日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	4	15	
4 5月29日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	32	5	37	
5 6月10日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	13	3	16	
6 6月17日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
7 6月26日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	27	5	32	
8 6月27日(月)	南国市立田	森林整備	土佐の森・救援隊	5	2	7	
9 7月2日(土)	香美市土佐山田町平山	支障木伐採	森の応援団・さんりん倶楽部	11	4	15	
10 7月8日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
11 7月22日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
12 7月27日(水)	土佐市永野	森林整備	土佐の森・救援隊	3	2	5	
13 7月31日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	16	4	20	
14 8月12日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	7	3	10	
15 8月19日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	15	3	18	
16 8月28日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	18	3	21	
17 8月29日(月)	いの町中追	森林整備	土佐の森・救援隊	6	2	8	
18 9月9日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
19 9月10日(土)	高岡郡四万十町影野・西内山	フェンソー講座・除間伐整備	こうち森林救援隊	15	4	19	
20 9月16日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	13	3	16	
21 9月23日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	18	4	22	
22 10月7日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
23 10月8日(土)	高岡郡四万十町影野・西内山	フェンソー講座・除間伐整備	こうち森林救援隊	14	4	18	
24 10月16日(日)	高岡郡四万十町影野・西内山	フェンソー講座・除間伐整備	こうち森林救援隊	11	4	15	
25 10月21日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	15	3	18	
26 10月30日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	20	4	24	
27 10月31日(月)	高岡郡日高村岩目地九頭	森林整備	土佐の森・救援隊	4	2	6	
28 11月5日(土)	香美市土佐山田町平山	支障木伐採	森の応援団・さんりん倶楽部	22	3	25	
29 11月11日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	8	3	11	
30 11月18日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	8	3	11	
31 11月20日(日)	高知市朝倉 アジロ自然の森	森のようちえん	こうち森林救援隊	11	4	15	
32 11月24日(木)	四万十市西土佐大野	フェンソー講座・除間伐整備	こうち森林救援隊	7	4	11	
33 11月25日(金)	幡多郡三原村 来栖の森	里山整備講習	こうち森林救援隊	5	4	9	
34 11月27日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	33	4	37	
35 11月28日(月)	高岡郡日高村妹背	森林整備	土佐の森・救援隊	7	2	9	
36 12月4日(日)	高知市朝倉 アジロ自然の森	森のようちえん	こうち森林救援隊	8	2	10	
37 12月9日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	11	3	14	
38 12月10日(土)	高岡郡四万十町影野・西内山	フェンソー講座・除間伐整備	こうち森林救援隊	13	4	17	
39 12月16日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15	
40 12月21日(水)	高岡郡日高村妹背	森林整備	土佐の森・救援隊	2	2	4	

41	12月25日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	24	4	28
42	1月6日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	16	3	19
43	1月15日(日)	高知市朝倉 アジロ自然の森	森のようちえん	こうち森林救援隊	9	2	11
44	1月20日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	14	3	17
45	1月29日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	49	4	53
46	1月29日(日)	高知市 筆山公園	森林整備	こうち森林救援隊	17	4	21
47	1月30日(月)	高岡郡日高村神名	森林整備	土佐の森・救援隊	5	3	8
48	2月5日(日)	高知市朝倉 アジロ自然の森	森のようちえん	こうち森林救援隊	10	2	12
49	2月10日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	12	3	15
50	2月11日(土)	高知市春野芳原	竹林整備	こうち森林救援隊	16	4	20
51	2月17日(金)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	16	3	19
52	2月18日(土)	高知市春野芳原	竹林整備	こうち森林救援隊	8	4	12
53	2月26日(日)	高岡郡日高村岩目地	薪作り	木の駅ひだか	39	4	43
54	3月11日(土)	県立野市総合公園	除間伐整備	こうち森林救援隊	31	4	35
55	3月19日(日)	高知市朝倉 アジロ自然の森	森のようちえん	こうち森林救援隊	12	2	14
計					776	179	955

※ 開催日毎に、作成した募集パンフレット等、参加者名簿及び活動状況の写真数枚を添付すること。なお、添付いただいた写真は活動のPR等のため、パンフレットやホームページ等で利用することがあります。



# 森林環境学習等促進事業委託料 R5当初予算 7,834千円 (事業組替) (R4:2,891千円)

森林の有する多面的な機能等について県民の理解を高め、森林環境を保全する取組への参画に繋げるため、山の学習支援事業の補助団体であり、こうち山の日ボランティアネットワーク事務局も担っている高知県森と緑の会に専任職員を1名配置し、①森林環境学習のコーディネートや②森林保全ボランティア活動のネットワーク強化等を図るための活動を委託し、森林整備等に関わる体験の機会を創出する。

令和3年度に、ハンドブック(R2作成)を活用した山の学習支援事業の活用校の増加に向けた取組や、森林保全ボランティア活動の活性化に向けたボランティア団体の活動実態調査等に係る業務(※)を同会に委託し、山の学習支援事業では、令和4年度の活用校が18校増。ボランティア団体の課題(活動の低下の原因や横のつながり、支援の必要性)を確認することができました。

令和5年度から、山の学習支援事業の活用校のさらなる増加を図るとともに、森林保全ボランティア団体の相談支援、ネットワーク強化、活性化を図っていく。

事業費：専任職員1名人件費、総括責任者人件費、旅費、交流会場費、ボランティア団体活動支援費、ボランティア団体保護具購入費、林業事務所ボランティア活動保険料 等

## ①山の学習支援事業活用の支援

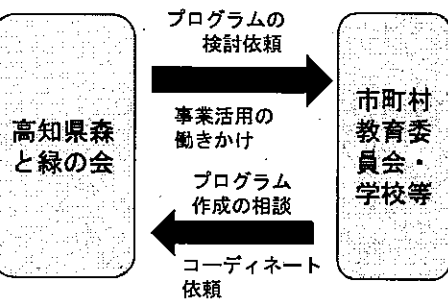
成果等

- 令和3年度、ハンドブックを活用し、学校や市町村教育委員会に働きかけることにより、山の学習支援事業の活用校の増につながった。
- 山の学習支援事業は、R5より保育園・幼稚園も対象となるため、従来の小中学校に加え、保育園や幼稚園等にも働きかけを行い、活用校の増を図る。

各市町村教育委員会や事業未実施校を訪問し、ハンドブック等のPR素材を活用した学習プログラムの検討を要請するとともに、学習プログラムの検討・作成や指導者とのマッチング、各校からの相談に応じる相談業務を行う。山の学習支援事業の活用校の増を目指す。



年度	活用校数	人数
H30	56校	5,338人
R1	67校	5,860人
R2	67校	5,253人
R3	64校	5,386人
R4	82校	6,573人



R5～対象となる学校数のイメージ(他に児童クラブなどがある。)

小学校	185校 分校1
中学校	101校、分校1
義務教育学校	4校
特別支援学校	10校、分校7
保育園、幼稚園等	311園



## ②森林保全ボランティア団体の活性化、ネットワーク強化支援

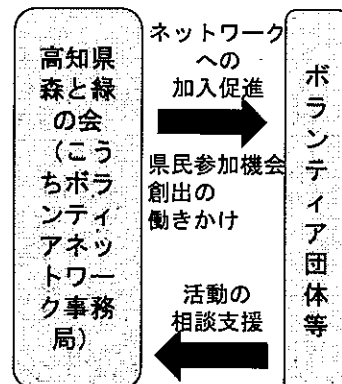
- 山の学習支援事業の活用校の増加に伴う活動の増加を支えるためには、ボランティア団体活性化や指導者の確保等が不可欠
- 間伐や植林などの森林環境保全の体験を行うには、地域でボランティア団体等を育成し、県民参加の機会を創出することが必要

- 課題
- 森林保全ボランティア団体・参加者の固定化・活動の停滞
  - 既存のボランティア団体の活動支援と新たな参加者の取り込みが必要

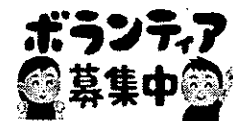
県全体のボランティア活動を活性化するため、現在のボランティアネットワーク参加団体に加え、森林・山村多面的機能発揮対策事業の活用団体も含めたネットワーク化を進めることを目指し、ボランティア団体を訪問し、加盟団体を増やす。課題解決の相談対応を行い、関係を構築するとともに、県民参加機会(イベント等)の創出を働きかける。

年度	回数	人数
H30	24回	275人
R1	28回	396人
R2	46回	651人
R3	40回	595人
R4	55回	955人

※平成23年度 33団体あったボランティア団体が現在活動しているのは10団体程度



協力



こうち森から始まる県民トーク開催委託事業

※別事業

R4-15 (R5-6)

こうち山の日推進事業

(林業環境政策課)



## 事業実施主体一覧表

No	事業区分	事業実施市町村	実施団体名	事業概要	参加人数	実績		備考
		団体所在地				事業費	補助金額	
1	⑦-①② ⑦⑧	高知市	アジロ山の自然と環境を守る会	森の遊具の整備点検、損傷が激しい「ツリーハウス」の解体、植樹や下草刈りなどの準備を行い、「森のようちえん&自然体験」事業を開催する。 幼児期の子どもたちに体験型で森を守ることの大切さや森の素晴らしさを知ってもらおう企画です。 1回目は、自然散策とノギリ体験を行い、森の木を切って薪割を明るくし、切った木を持ち帰ってクラフト体験を行います。 2回目は、森を散策しながら、落ち葉が土になっていく状況を観察し、森で拾ったどんぐりなどでクラフト体験を行い自然を体感してもらいます。	196名	269,429円	250,000円	
		高知市						
2	⑦-⑧	高知市	まきのシェアリングネイチャーの会	牧野植物園を活用し自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施。参加対象は県内の親子。	75名	92,609円	88,529円	
		高知市						
3	⑦-⑦	香美市	雨喜ヶ峰トレイルランニング実行委員会	10km、リレー、キッズの3コースを設け、それぞれのコースを走ることで自然を楽しむ	225名	859,011円	250,000円	
		香美市						
4	⑦-⑧	津野町	船戸活性化委員会「四万十川源流点」	散策コースの事前準備(古道・木馬道の復元、追合の滝周辺の整備)を行い、ウォーキングを実施。 満天の星本社駐車場から四万十源流点までの往復16km、四万十源流センターから四万十源流点までの往復8kmの2コースを設定。	67名	336,231円	222,833円	
		津野町						
5	①-⑧	香美市	情報交流館ネットワーク	・森林や木材等に関連した出展や展示、ワークショップ ・森林センターの自然を活用した自然体験 ・地元の特産品などの出店 ・森の音楽会 など	1,321名	437,925円	250,000円	
		香美市						
6	①-⑤⑧	本山市 香美市 南国市	雨喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム並びに木や竹を使ったクラフト教室を実施し、こどもたちの豊かな心や生きる力を育む。	312名	364,602円	250,000円	
		高知市						
7	⑦-⑦	香美市	一般社団法人高知県山林協会	森林や木に関する体験コーナー等を地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、来園者に体験してもらう。	412名	258,548円	239,227円	
		高知市						
8	①-⑤	四万十市	幡多山もりフェス実行委員会	紙芝居やクイズを通して森林の役割や林業について知ってもらい、各ワークショップで木の香りや肌触りを感じてもらおう。	238名	262,651円	199,066円	
		四万十市						
9	⑦-⑦	梶原町	高知県森林インストラクター会	目的:梶原町松原に位置する久保谷ロードは、森林セラピーのロードに認定されている。この行事では、セラピー体験とあわせて、植物やきのこの観察を実施することにより県民の皆さんに森林に親しむ機会を提供するとともに森林の効能に対する理解を広く深めていただくことを目的とする。 内容:森林セラピーの講話のあとセラピーガイドとともに久保谷ロードを散策しながら周辺の自然を観察する。	26名	210,435円	210,435円	
		高知市						
10	⑦-⑦	四万十市	高知県青年団協議会	「草刈り・薪割り」など、中山間地域で暮らす中でほぼ誰もが身に着けている「あたりまえのスキル」を、「地域課題を解決する手段として有効であること」「ナリワイとしての魅力と可能性」を突感するプログラムを行う。 青年団が管理する山に入り、薪割り・草刈り体験、薪を活用した軽トラサウナ・サウナ料理体験などを行い、体験するプログラムがどの様に「地域課題」「ナリワイ」に繋がっているかを講師による講演と、参加者同士の意見交換を通じて理解を深める。また、記念植樹を行い、山への関心を高めるとともに、当プロジェクトがより活発になるきっかけとする。モニター参加者は参加するだけでなく体験した感想をSNS等で発信を行い、主体的に本事業に携わる。	27名	263,495円	237,185円	
		いの町						
11	①-⑤	四万十市	高知工科大学WAVert	木材流通によって栄えた四万十市下田地区の歴史を現地で学び、森林に対する理解を深める。その内容はパネルにまとめ、地区で開催されるイベントで展示する。 また、船大工技術をもった地元職人等の協力のもと、県産材を活用した「オールづくり木エワークショップ」を開催し、製作したオールは地区(貴船神社)に寄贈。今後は伝統行事等で活用していただく。	91名	238,281円	236,601円	
		香美市						

No	事業区分	事業実施市町村		実施団体名	事業概要	参加人数	実績		備考
		団体所在地					事業費	補助金額	
12	㊷-㊸㊹	香美市	香美市	香美市の資源を活かす会	香美市物部町庄谷相の山を間伐して、約20年かけて造られた天空の庭園「炭森園」。そこから「山の暮らしと知恵、歴史、文化」を発信して、地域活性化活動を続けてきた公文寛伸氏の話と、この地域の森林資源と自然のサイクルについて高知中部森林管理署から学ぶ。森林資源と中山間地域の暮らしの持続や環境保全について考え、今後の取り組みを計画する。	30名	289,560円	250,000円	
		香美市							
13	㊷-㊸	高知市	高知市	まきのシェアリングネイチャーの会	牧野植物園と連携し、自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム等を実施。時間内であればいつでもどなたでも参加していただけて事前予約も不要。	27名	17,812円	17,071円	
		高知市							
14	㊷-㊸	大月町	大月町	大月町備長炭生産組合	製炭体験、ウバメガシの摘採、ウォーキング、どんぐり拾い、苗木づくり	36名	258,819円	165,778円	
		大月町							
15	㊷-㊸㊹	香美市	香美市	一般社団法人香美市観光協会	ゆっくり自分のペースで、秋の登山を楽しんでもらいます。(森林管理署スタッフがサポート) 山頂ではSDGsセミナー(約30分/山林の環境保全)を実施します。	24名	89,596円	69,000円	
		香美市							
16	㊷-㊸	梶原町	梶原町	松原まろうど会	ガイドに興味のある方や現セラピーガイドを対象に、久保谷森林セラピーロードを歩きながら山の持つセラピー効果の体験勉強会を行う。セラピー効果が高まる案内のスキルを学ぶとともに、後継者育成のためのガイドブック作成を行い、来年度増加が見込まれる観光客を迎い入れる体制を整える。	28名	261,930円	250,000円	
		梶原町							
17	㊷-㊸	四万十町	四万十町	公益社団法人生態系トラスト協会	森林間伐ボランティアの講師をお招きして巣箱作りの実践教育をしてもらう。	47名	155,000円	154,375円	
		四万十町							
18	㊷-㊸	安田町	安芸市	林業女子会@高知	・森林をテーマにした映画の上映 ・森林体験(薪割り、チェーンソー実演、森林散策) ・木製品等の出店を依頼	116名	286,801円	158,501円	
		安芸市							
19	㊷-㊸	香美市	香美市	株式会社ラフディップ	・ボルダリング体験(人工のボルダリングウォールを設置して気軽にボルダリングの魅力を体験) ・ボルダリングツアー(クライマーがガイドを行い、森の中にある自然の岩の魅力を体験) ・SUP体験(森の恵みを受けた清流日ノ御子の美しさを体験) ・ブッシュクラフト体験(イベント初出展ですが、インスタフォロワー12万人のブッシュクラフトの達人が、火おこしとナイフワークを通じて自然の魅力を伝える) ・スラックライン(木と木の間にロープを張りバランスを取ったり、パフォーマンスするスポーツ。自然の中で過ごす楽しさを伝えるとともに、楽しみながら健康な身体づくりに寄与する) ・マルシェ(高知県で活躍する自然を大切に思う方々に食やクラフトの出店をお願いする。20店舗ほどを予定) ・森の音楽(森に合う心地よい音楽がイベントと森の魅力を引き立てる)	1,322名	478,791円	250,000円	
		香美市							
20	㊷-㊸ ㊹-㊺	いの町	いの町	ほのほの王国もみじまつり実行委員会	職業体験・ワークショップ・働く車の展示・ほのほの市の開催。間伐体験、間伐材を利用した木工教室など様々な体験で自然とふれあい、いの町の豊かな森林を実感してもらうとともに、森林・林業の重要性を認識してもらう。		中止		
		いの町							
21	㊹-㊺ ㊻-㊼	室戸市 本山町 香美市	佐川町	高知県シェアリングネイチャー協会	自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム並びに自然の恵みを使ったクラフト教室を実施し、子どもたちの豊かな心や生きる力を育む。	124名	159,657円	126,922円	
		佐川町							
						4,744名	5,591,183円	3,873,523円	

(注) 1 番号は、別紙4の番号と一致させてください。  
 2 「事業区分」欄については、別表第2の「事業内容及び補助対象経費」欄の事業区分の数字を記入してください。  
 3 「市町村名」欄については、実施団体の主たる事務局等が所在する市町村名を記入してください。  
 4 必要に応じて、増行、増項等を行ってください。

R 4 - 1 6

木育指導員活動支援事業

(林業環境政策課)

事業実施主体一覧表

実施団体名	事業項目	事業概要	実施回数	実施		備考
				事業費	補助金額	
HIRAKO Lab (ヒラコラボ)	木育の実施	木育を通じて森林資源の大切さと心を育む木の力を伝えながら、学びにつながるような体験プログラムの実施	6回	253,180	228,380	
	木育指導員講習	一般参加者への指導を前提とした実践的な木育体験プログラムの指導(クラブ指導、コミュニケーションの取り方等)	1回			
トサシカゲ NITARI	木育の実施	木を楽しむ 五感を育む をテーマに「木を知る」「木を見る」「木を嗅ぐ」「木を聞く」それぞれ4人の講師による木育講座の実施	5回	300,472	288,222	
香南市	木育の実施	香南市の子供たちに木や森林に親しむ機会を提供し、森林保全の重要性や森林と人とのかかわりを伝え、将来林業や森林保全に関心を持ってもらうためのプログラムの実施	6回	246,860	210,850	
	木育指導員講習	実施施設や学校の先生、職員・地域の有志の方などが将来的に木育の指導員となれるような講習の実施	4回			

(注) 1 補助事業者が木育指導員支援を行う場合には、補助事業者の実施した事業についても記載してください。

2 必要に応じて、増行、増項等をしてください。

計 727,482

事業実施一覧

実施団体名		HIRAKO Lab						
番号	年月日	時間	実施場所	実施内容	指導員名	対象者	参加者数	備考
1	令和4年10月22日	10:00~16:00	高知市中央公園	木育体験プログラム	平子真治	一般参加者	30名	
2	令和4年10月23日	10:00~16:00	高知市中央公園	木育体験プログラム	平子真治	一般参加、育指導員	35名	
3	令和4年10月24日	10:00~11:30	高須第2幼稚園 (耳長)	木育体験プログラム	堀田幸正	園児、保護者、保育士	62名	
4	令和4年10月25日	10:00~11:30	高須第2幼稚園 (年々)	木育体験プログラム	平子真治	園児、保護者、保育士	49名	
5	令和4年10月26日	10:00~11:30	高須第2幼稚園 (年々)	木育体験プログラム	平子真治	園児、保護者、保育士	56名	
—	令和5年2月2日	14:00~16:00	こうち エコハウス	木育体験プログラム レクチャー	平子真治	木育指導員	2名	
7	令和5年2月4日	9:00~12:00	香美市基幹集落センター	木育体験プログラム	平子真治	一般参加者、木育指導員	16名	
								計250名

(注) 1 木育指導員講習を除く実施事業について実施団体別に作成し、必要に応じて、適宜、増行、増項等をしてください。

2 「番号」は、別記第3号様式別紙5の活動個別事例報告の番号と一致させてください。

第3号様式 別紙4

事業実施一覧

実施団体名		トサシカケ NITARI						
番号	年月日	時間	実施場所	実施内容	指導員名	対象者	参加者数	備考
1	令和5年3月4日	10:00~10:30	つな一で工作室	木育体験プログラム 木毛のサシェ作り	戸田実知子	幼保~大人	10人	
2	令和5年3月4日	10:30~11:00	つな一で多目的室	木育体験プログラム 動物を通して森を見よう	安藤喬平	幼保~大人	7人	
3	令和5年3月4日	11:00~11:30	つな一で工作室	木育体験プログラム 木毛サシェ作り	戸田実知子	幼保~大人	9人	
4	令和5年3月4日	11:30~12:00	つな一で多目的室	木育体験プログラム 木に触れてみよう	寺川颯	幼保~大人	9人	
5	令和5年3月4日	12:00~13:00	つな一で工作室	木育体験プログラム 木のカホン作り	南口恵理	幼保~大人	10人	
							計45人	

(注) 1 木育指導員講習を除く実施事業について実施団体別に作成し、必要に応じて、適宣、増行、増項等をしてください。

2 「番号」は、別記第3号様式別紙5の活動個別事例報告の番号と一致させてください。

事業実施一覧

実施団体名		香南市						
番号	年月日	時間	実施場所	実施内容	指導員名	対象者	参加者数	備考
1	令和4年6月1日	16:00~17:00	佐古小学校	万華鏡づくり打ち合わせ	堀田幸生	佐古小学校 先生	2人	補助対象外事業
1	令和4年6月24日	13:45~15:30	佐古小学校	万華鏡づくり	堀田幸生	佐古小学校 4年生	47人	
2	令和4年7月31日	9:00~12:00	ふれあいセンター	木育指導員養成講習	堀田幸生 平子真治	一般	7人	
1	令和5年1月5日	10:00~11:00	野市東幼稚園	竹コマづくり打ち合わせ	堀田幸生	野市東幼稚園 先生	3人	
1	令和5年1月5日	14:30~15:30	野市保育園	万華鏡づくり打ち合わせ	堀田幸生	野市保育園 先生	1人	
5	令和5年1月12日	9:30~11:10	野市東幼稚園	竹コマづくり	堀田幸生 永富和	野市東幼稚園 3~5歳児	36人	
6	令和5年1月24日	13:30~15:00	野市保育園	万華鏡づくり	永富和	野市保育園 5歳児	55人	
7	令和5年1月27日	9:00~10:00	赤岡保育園	竹コマ、竹けん玉づくり	永富和 公文美代子	赤岡保育園 4歳児	15人	
1	令和5年2月6日	15:00~16:00	夜須幼稚園	ひのき机づくり打ち合わせ	堀田幸生	夜須幼稚園 先生	1人	
9	令和5年2月13日	9:00~11:00	夜須幼稚園	ひのき机づくり	堀田幸生 永富和	夜須幼稚園 5歳児	16人	
10	令和5年2月15日	13:00~14:15	野市東保育園	竹コマ、竹けん玉づくり	堀田幸生 永富和	野市東保育園 5歳児	25人	

(注) 1 木育指導員講習を除く実施事業について実施団体別に作成し、必要に応じて、適宣、増行、増項等をしてください。

67206人、(除2人)

2 「番号」は、別記第3号様式別紙5の活動個別事例報告の番号と一致させてください。

R 4 - 1 7 ( R 5 - 1 4 )

運営委員会等開催事務費

(林業環境政策課)



高知県森林環境保全基金運営委員会

納税者である県民や学識経験者の方で構成される高知県森林環境保全基金運営委員会（10人以内）に、事業計画や進み具合、制度のあり方などについて、ご意見やご提案をいただいています。

運営委員会に関する資料

- ・ ① 運営要領 [PDFファイル/47KB]
- ・ ② 令和2年度委員名簿 (R2.7~) [PDF: 43KB]
- ・ ③ 令和3年度委員名簿 (R2.11~) [PDF: 44KB]
- ・ ④ 令和4年度委員名簿 (R4.1~) [PDF: 43KB]
- ・ ⑤ 令和4年度委員名簿 (R4.7.13~) [PDF: 43KB]

令和4年度高知県森林環境保全基金運営委員会

回 (実施年月日)	主な議題	会議要旨及び資料
第4回 (令和5年2月9日)	(1) 森林環境税の延長について (2) 令和5年度以降の事業について (3) 令和4年度事業の中間報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度第4回森林環境保全基金運営委員会 会議録 [PDF: 284KB]</li> <li>② 【資料1】 「今後の森林環境税のあり方について (案)」へのご意見に対する考え方 [PDF: 142KB]</li> <li>③ 【資料2】 今後の森林環境税のあり方について [PDF: 496KB]</li> <li>④ 【資料3】 今後の森林環境税のあり方について (最終案) [PDF: 4MB]</li> <li>⑤ 【資料4】 令和5年度~令和9年度 森林環境税活用事業の検討案 [PDF: 124KB]</li> <li>⑥ 【資料5】 第五期森林環境税の活用事業の概要 [PDF: 787KB]</li> <li>⑦ 【資料6】 環境不動産評価事業委託案 [PDF: 325KB]</li> <li>⑧ 【資料7】 令和4年度(中間)森林環境税活用事業評価シート [PDF: 729KB]</li> <li>⑨ 【参考資料1】 森林環境税活用事業 (R5環境税予算グラフ) [PDF: 131KB]</li> <li>⑩ 【参考資料2-1】 (仮称)モデル的緑化促進事業費補助金 [PDF: 559KB]</li> <li>⑪ 【参考資料2-2】 (仮称)こうち森からはじまる県民トーク開催事業 [PDF: 292KB]</li> <li>⑫ 【参考資料2-3】 (仮称)こうち森林環境学習等強化対策事業 [PDF: 383KB]</li> <li>⑬ 【参考資料5-2】 「令和4年度第3回森林環境保全基金運営委員会」における意見への対応状況 [PDF: 118KB]</li> </ul> <p>上記のほか、参考資料2-4 (維持事業等の補足資料)、参考資料3 (森林環境情報誌「もりりん」8号 ご意見・ご感想)、参考資料4 (森林環境保全/スツアー 坊原町のチラシ)、参考資料5 (令和4年度第3回森林環境保全基金運営委員会 会議録)、参考資料6 (森林環境情報誌「もりりん」9号) を配布しております。</p>
第3回 (令和4年11月8日)	(1) 森林環境税の延長について (2) 今後のスケジュールについて (3) 令和5年度~令和9年度の森林環境税活用事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度第3回森林環境保全基金運営委員会 会議録 [PDF: 341KB]</li> <li>② 【資料1】 今後の森林環境税のあり方について (案) [PDF: 465KB]</li> <li>③ 【資料2】 今後のスケジュールについて [PDF: 21KB]</li> <li>④ 【資料3】 令和5年度~令和9年度 森林環境税活用事業の検討案 [PDF: 138KB]</li> <li>⑤ 【資料4】 青少年教育施設振興事業 (生涯学習課) [PDF: 150KB]</li> <li>⑥ 【参考資料1-1】 今後の森林環境税のあり方について (案) [PDF: 5MB]</li> <li>⑦ 【参考資料1-2】 第四期森林環境税 活用事業の成果(H30~R4年度) (案) [PDF: 5MB]</li> <li>⑧ 【参考資料2】 県民世論調査、企業アンケート等の結果について [PDF: 251KB]</li> </ul>
第2回 (令和4年9月8日)	(1) 令和3年度森林環境税活用事業の委員評価の取りまとめについて (2) 森林環境税の今後のあり方についての検討状況報告 (3) 令和5年度以降の森林環境税活用事業検討状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度第2回森林環境保全基金運営委員会 会議要旨 [PDF: 257KB]</li> <li>② 【資料1】 森林環境保全基金運営委員会による令和3年度森林環境税活用事業評価の集計及び総合評価 (案) [PDF: 192KB]</li> <li>③ 【資料2】 県民世論調査、企業アンケート調査の実施について [PDF: 2MB]</li> <li>④ 【資料3-1~資料3-3】 県の森林環境税の今後の方向性 (案) に対する市町村の意見等 [PDF: 3MB]</li> <li>⑤ 【資料4】 令和5年度~令和9年度 森林環境税活用事業の検討案 [PDF: 144KB]</li> <li>⑥ 【資料4】 の補足資料 [PDF: 651KB]</li> <li>⑦ 【資料5】 今後のスケジュール予定について [PDF: 25KB]</li> <li>⑧ 【参考資料】 第四期森林環境税 活用事業の成果(H30~R4年度) (案) [PDF: 5MB]</li> </ul>
第1回 (令和4年6月23日)	(1) 令和3年度森林環境税活用事業の実績について (資料1) (2) 令和4年度森林環境税活用事業の事業概要及び実施状況について (資料2) (3) 森林環境税の今後のあり方について (資料3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和4年度第1回森林環境保全基金運営委員会 会議要旨 [PDF: 270KB]</li> <li>② 【資料1】 令和3年度 (実績) 森林環境税活用事業評価シート [PDF: 2MB]</li> <li>③ 【資料2】 令和4年度 (当初) 森林環境税活用事業評価シート [PDF: 2MB]</li> <li>④ 【補足資料】 森林環境税活用事業の概要補足資料 [PDF: 7MB]</li> <li>⑤ 【補足資料】 追加分 (農産対策課) [PDF: 14MB]</li> <li>⑥ 【参考資料1】 令和4年度環境税活用事業一覧表 [PDF: 53KB]</li> <li>⑦ 【参考資料2】 令和4年度森林環境税の活用について (守備隊) [PDF: 126KB]</li> <li>⑧ 【参考資料3】 令和3年度森林環境税の活用について (決算課) [PDF: 113KB]</li> <li>⑨ 【資料3】 県の森林環境税と税の県内市町村活用状況等 [PDF: 2MB]</li> </ul>

R 4 - 1 8 ( R 5 - 8 )

林業大学校(短期課程)研修

業務等委託料

(森づくり推進課)

高知県立林業大学校 【 短期課程 】年間計画及び受講実績一覧表

2022・実績 2023/3/31

コース	科目	内 容	定 員	受講予約	受講者数 ・実績	料金	日 程
資格取得コース	ボランティア	チェーンソー特別教育(ボランティア)	10	10	5	無料	12月17日
資格取得コース	ボランティア	チェーンソー特別教育(ボランティア)	10	10	5	無料	12月18日
資格取得コース	ボランティア	チェーンソー特別教育(ボランティア)	10	10	3	無料	1月14日
資格取得コース	ボランティア	チェーンソー特別教育(ボランティア)	10	10	2	無料	1月21日
資格取得コース	ボランティア	玉掛け技能講習(ボランティア) 学科	10	9	8	無料	1月21日
資格取得コース	ボランティア	玉掛け技能講習(ボランティア) 学科	10	9	8	無料	1月22日
資格取得コース	ボランティア	玉掛け技能講習(ボランティア) 実技	10	9	8	無料	1月28日
資格取得コース	ボランティア	小型移動式クレーン運転技能講習(ボランティア) 学科	10	10	7	無料	1月7日
資格取得コース	ボランティア	小型移動式クレーン運転技能講習(ボランティア) 学科	10	10	7	無料	1月8日
資格取得コース	ボランティア	小型移動式クレーン運転技能講習(ボランティア) 実技	10	10	7	無料	1月14日
資格取得コース	ボランティア	小型車両系建設機械特別教育(ボランティア) 学科	15	10	8	無料	2月4日
資格取得コース	ボランティア	小型車両系建設機械特別教育(ボランティア) 実技	15	10	8	無料	2月5日

令和5年度 高知県立林業大学校短期課程(資格取得コース)

No.	コース	内容	研修日程	定員	日数	取得できる免許資格	資格の付与	経験年数
	ボランティアコース	チェーンソー特別教育	2月5日(月)～2月6日(火) 2月7日(水)	10	3	伐木等の業務に係る特別教育修了証 (安衛則第36条第8号)	修了者	不要
		小型車両系建設機械特別教育	12月4日(月) 12月5日(火)	15	1 1	小型車両系建設機械(整地等)運転 特別教育修了証 (安衛則第36条第9号)	修了者	不要
		玉掛け技能講習	2月14日(水)～2月15日(木) 2月16日(金)	10	1	玉掛け技能講習修了証 (高知労働局長登録教習機関登録第63号)	修了試験 合格者	不要
		小型移動式クレーン運転技能講習	1月24日(水)～1月25日(木) 1月26日(金)	10	2 1	小型移動式クレーン運転技能講習修了証 (高知労働局長登録教習機関登録第64号)	修了試験 合格者	不要

R4-19 (R5-15)

木の香るまちづくり推進事業

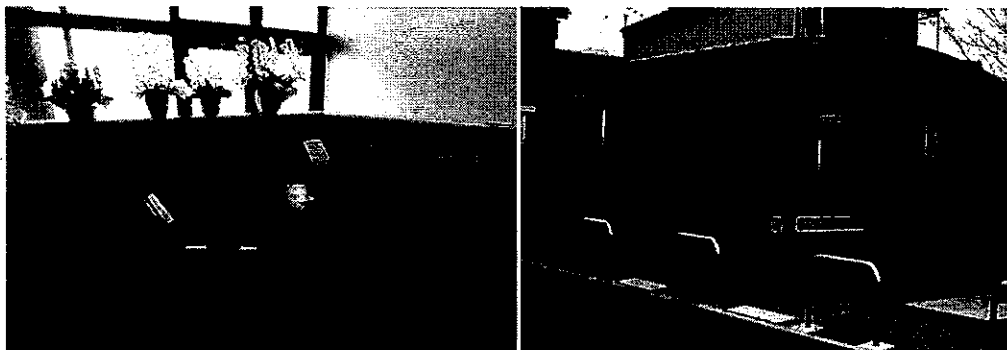
(木材産業振興課)

# 高知県木の香るまちづくり推進事業

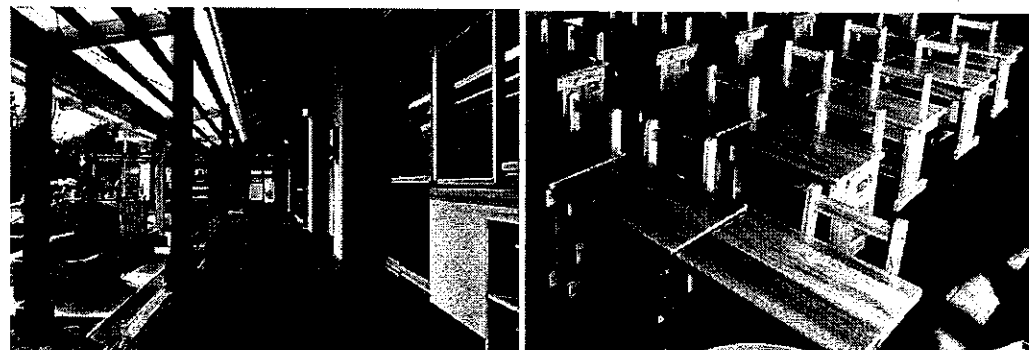
## 趣旨

「木の文化県構想」に基づく「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、県産材を積極的に利用した公共的施設等の整備に支援を行い、県内外からの観光客等に木の香る環境を提供することや、幼少期から木材に触れあい親しむ体験を通して、木の良さの普及を図る。

## 木材活用施設等整備



## 学校関連環境整備



### 対象

玄関、ロビーその他県民の目に触れる機会が多い公的空間の木質化や木製品の導入に係る経費

幼児、児童・生徒及び学生が利用する保育室、教室等の木質化や木製の机、椅子、遊具等に係る経費

### 補助率

1/2以内(補助金額25千円以上・一施設当たりの限度額が400万円)

一施設当たりの限度額400万円、一事業者当たりの限度額500万円  
ただし、小・中学校の内装木質化については限度額1,000万円

### 補助事業者

社会福祉法人、財団法人、医療法人、県内に事務所を置く企業、団体等

社会福祉法人、学校法人、財団法人、その他認可外保育施設の設置者

		補助事業者名		想定支出額	
1	学校	(学)	学校法人平成学園	靴箱×3、イス(背もたれなし)×25、イス(背もたれあり)×4、木工政策展示用テーブル→ロッカー×4、テーブル	488,000
2	学校	(社福)	社会福祉法人芳公会	特注棚×2	86,000
3	学校	(社福)	社会福祉法人高知保育センター	ロッカー8人用×2、ロッカー6人用×2	245,000
4	学校	(学)	学校法人清和学園	下足箱×3	844,000
5	学校	市町村	香南市	スタッキング台×2、園庭戸外用棚、積み木×2、本棚、イス×6、本棚、玩具棚、ゾーニング収納ロッカー(H75)、ゾーニング収納ロッカー(H65)×2、キッチン棚×2、パーテーション×2、ままごとキッチン	520,000
6	学校	(学)	学校法人やまもも学園	特注ロッカー×3、特注ままごとキッチンキャスター付き×2、特注ままごとキッチン×2、玩具棚、流し台A×2、流し台B×2、流し台キャスター付き、くつ箱×15、オリジナルプレート×9	1,848,000
7	学校	(社福)	社会福祉法人五台山保育園振興会	木製ロッカー×2	198,000
8	学校	(社福)	社会福祉法人高知慈善協会	木製アスレチック薬山一式	709,000
9	公共	(株)	高知空港ビル株式会社	テーブル×6、椅子×12	308,000
10	学校	(学)	学校法人森本学園	木製可動式棚×5、木扉、ベンチ、パーテーション、変化イス×2、パーテーション、流し台B(玩具)	349,000
11	学校	(学)	学校法人森本学園	クラスプレート×3	46,000
12	学校	(学)	学校法人土居学園	連絡通路木質化、木製フェンス、机×20、椅子×30	3,317,000
13	学校	(社福)	社会福祉法人大埔福祉協会	園児用木製ロッカー×10	258,000
14	学校	(社福)	社会福祉法人高知福祉協会	砂場枠	232,000
15	公共	市町村	本山町	収納棚、可動式収納棚、テレビ台×3、テーブル×5	2,631,000
16	屋外	市町村	土佐町	木製看板×8	381,000
17	学校	市町村	土佐町	机椅子セット×23	531,000
18	公共	市町村	仁淀川町	林業ジオラマ	250,000
19	木育	市町村	仁淀川町	積み木×18	90,000
20	木育	市町村	佐川町	玩具×43	183,000
21	学校	(社福)	社会福祉法人 ぶらうらんど	運動遊具、木製ベンチ×4、木製テーブル×2	588,000
22	屋外	(特非)	特定非営利活動法人イーハトーブ佐川	梅の木公園待合所	2,701,000
23	公共	(特非)	特定非営利活動法人総合クラブとさ	下駄箱(160人分)×1、下駄箱(40人分)×3、スノコ×2、休憩談話室木質化	2,169,000
24	学校	(学)	学校法人日吉学園	児童用ロッカー×15	1,361,000
25	学校	市町村	越知町	ブランコ、山形雲梯	1,573,000
26	木育	市町村	越知町	赤ちゃんセット×2、シーソー(玩具)×8	38,000
27	公共	市町村	いの町	案内所カウンターテーブル、案内所本棚×2、案内所カウンター長椅子、イベント用テーブル、パーテーション×6、会議用テーブル×3、会議用椅子×12、看板	1,129,000
28	公共	市町村	構原町	木の球プール、遊具	3,545,000
29	学校	市町村	構原町教育委員会	学習机×19	355,000
30	屋外	市町村	構原町	木製ベンチ(机付き)×5、木製ベンチ×10	1,100,000
31	木育	市町村	須崎市	木のおもちゃセット×86	430,000
32	学校	市町村	四万十町	机椅子セット×115、イス×5、図書室用机×4	2,421,000
33	屋外	市町村	中土佐町	バーベキューコンロ用机×8、丸太椅子×40	211,000
34	木育	市町村	大月町	動物の広場×19、手押し車:はがためセット×21	184,000
35	屋外	市町村	黒潮町	案内看板	550,000
計					31,869,000
計(木育除く)					30,944,000

重複除く	市町村	民間	小計
公共	4団体	3団体	7団体
	5施設	3施設	8施設
学校	5団体	13団体	18団体
	21施設	16施設	37施設
屋外	4団体	1団体	5団体
	11施設	1施設	12施設
小計	10団体	17団体	27団体
	37施設	20施設	57施設

金額	市町村	民間	小計
公共	7,555,000	2,477,000	10,032,000
学校	5,400,000	10,569,000	15,969,000
屋外	2,242,000	2,701,000	4,943,000
木育	925,000	0	925,000
小計	16,122,000	15,747,000	31,869,000

役務費 @84円 1510通 126,840  
 合計 31,995,840

木育	5市町	—	5市町
	0個配布	—	0個配布

R 5 - 1 6

環境不動産評価事業

(木材産業振興課)



## 概要

- 脱炭素社会の実現等に資する木造化・木質化された非住宅建築物や4階建て以上の中高層住宅を「高知県環境不動産」として認定。
- 高知県環境不動産に対し、税制面や都市計画面で優遇措置を実施。

→ 県産木材の需要拡大

## 1. 高知県環境不動産とは

**【定義】** 木材を使用した非住宅建築物（商業施設、オフィスビル、病院等）及び4階建て以上の住宅であって、下記項目に該当するもの。

- ①環境品質・性能の向上や環境負荷の低減のための措置が適切に講じられたもの（CASBEE）
- ②一定規模以上の木材の使用量を有するもの（県独自基準）

**【評価方法】** ①CASBEE + ②県独自基準 → 高知県環境不動産

### ②県独自基準

#### 基礎評価

- ・延べ面積 300㎡以上
- ・木材使用量 0.15㎡/㎡以上
- ・県産木材使用率 60%以上

#### 1. 林業・木材産業の持続性確保

木材使用量、森林認証や再造林の取組を評価。

#### 2. 脱炭素社会の実現

輸送距離の短縮や製造工場の低炭素の取組を評価。

#### 3. 快適空間の形成

内装の木質化を評価。

#### 4. 良好な景観の形成

外装、外構の木質化を評価。

#### 5. 地域経済の活性化

県産木材の使用、県内事業者の活用を評価。

#### 総合評価

- 3段階評価：  
S, A, B  
・B: 高知県環境不動産  
・A, S: 優遇措置の対象

### ①CASBEE(R) (建築環境総合性能評価システム)

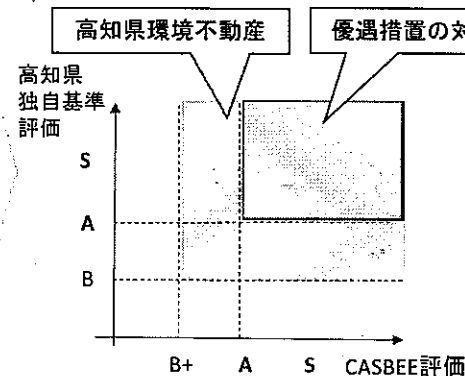
$$\text{環境性能効率} = \frac{\text{環境品質・性能}}{\text{環境負荷}}$$

5段階評価: S, A, B+, B-, C

- ・B+: 高知県環境不動産
- ・A, S: 優遇措置の対象

項目 環境品質・性能(Q) : 室内環境、サービス性能、室外環境(敷地内) ※57項目  
環境負荷(L) : エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境 ※35項目

### ○評価のイメージ



### ○高知県環境不動産のイメージ



## 2. 高知県環境不動産の優遇措置

### ○優遇措置

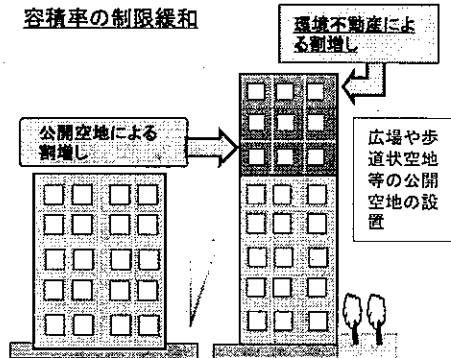
#### 【財政面】

不動産取得税(県税)の免除  
※不動産取得税=課税標準額の4%



#### 【都市計画面】

容積率の制限緩和



○優遇措置の対象  
CASBEE: A以上、県基準: A以上

## 3. 環境不動産の認定及び課税免除までの流れ

